

ServiceNow.CIS-DF.v2026-08-01.q87

試験コード:	CIS-DF
試験名称:	Certified Implementation Specialist - Data Foundations (CMDB and CSDM)
認定資格:	ServiceNow
無料問題数:	87
バージョン:	v2026-08-01
アクセス数:	106
ページビュー数:	870
https://www.jpnpdf.com/ServiceNow.CIS-DF.v2026-08-01.q87-mondaishu.html	

最新問題: 1

CMDB構成マネージャーは、CIクラスマネージャーを使用してCIクラスのグループ所有権を定義しており、CIクラスマネージャーで指定された所有権の値を活用する必要があります。

CMDBデータマネージャーポリシーを作成する際、どのグループ参照フィールドを設定すべきですか？

- A. 承認グループ
- B. グループ管理
- C. サポートグループ
- D. グループ変更

Answer: B (メッセージを残す)

ServiceNow CMDBガバナンスにおいて、CIクラスマネージャーを使用すると、管理者はクラスレベルで所有権と責任を割り当てることができます。この所有権は、ガバナンスツール（特にCMDBデータマネージャー）によって使用され、データライフサイクル管理に関連するタスクやアクションを誰が受け取るかを自動的に決定します。

クラスの所有権と関連付けられ、CMDBデータマネージャのポリシーで使用されるグループ参照フィールドは、 管理グループ」です。このフィールドは、そのクラス内の構成アイテム（CI）の技術的な管理とライフサイクル管理を担当するチームを表します。

CMDBデータマネージャーが保持、アーカイブ、クリーンアップなどのポリシーを実行する際、管理グループを使用して適切なデータ所有者にタスクを割り当てます。これにより、ガバナンスアクションが手動介入なしに適切な担当チームに確実にルーティングされます。

承認グループ、サポートグループ、変更グループはそれぞれ異なる目的で使用されます。承認グループはワークフローの承認に、サポートグループは運用チケットのルーティングに、変更グループは変更管理のガバナンスに使用されます。これらのいずれも、クラスレベルでのデータ所有権を反映していません。

したがって、CMDBデータマネージャポリシー内でCIクラスマネージャで定義されたCIクラスの所有権を活用するには、正しいフィールドは 管理グループ」であり、オプションBが正解となります。

最新問題: 2

データセンターマネージャーは、CMDB CIクラスマネージャーと協力して、アプリケーションサーバーとそれらがホストするアプリケーションとの関係を定義しています。この会社には、1つ以上のアプリケーションをホストする複数のアプリケーションサーバーがあります。

アプリケーションサーバーテーブルとアプリケーションテーブルの関係を説明しているのはどれですか？

- A. 多対多
- B. 多対一
- C. 1対1
- D. 一対多

Answer: A (メッセージを残す)

CMDBモデリングにおいて、関係性を正確に定義することは、影響分析、サービスマッピング、および変更管理にとって非常に重要です。このシナリオでは、アプリケーションサーバーは複数のアプリケーションをホストでき、アプリケーションは複数のアプリケーションサーバーにまたがって実行することもできます。たとえば、クラスタリング、ロードバランシング、または分散アーキテクチャの場合)。

このアーキテクチャ上の特性は、アプリケーションサーバーのテーブルとアプリケーションテーブルの間に多対多の関係が存在することを定義する。

ServiceNowでは、特に水平スケーリング、冗長性、コンテナ化されたワークロードを使用する最新の環境では、アプリケーションホスティングモデルにおいて多対多の関係が一般的です。これを正しくモデル化することで、単一サーバーに影響を与えるインシデント、変更、障害を、影響を受けるすべてのアプリケーションに正確に追跡できるようになり、その逆も同様です。

一対多または多対一の関係では、一方通行の排他性を誤って想定することになり、現実世界のアプリケーション展開パターンを反映しません。一対一の関係では、さらに制約が多く、不正確になります。

したがって、正しい関係タイプはA - 多対多であり、これはCMDBのベストプラクティスおよびCSDMサービスモデリングの原則に合致しています。

最新問題: 3

組織は、ハードウェア構成アイテム (CI) の保証期限など、検出不可能な属性を維持する必要があります。これらの属性は、自動検出ツールでは更新されません。

これらの属性がすべての構成アイテム (CI) に対して正確に維持されることを保証する方法は何ですか？

A. CMDB調整エンジンを使用して属性を更新します

B. 検出不可能な属性専用の新しいCIクラスを作成する

C. スケジュールされたデータインポートを使用して、外部ソースから属性を更新します。

Answer: (解答を表示する)

データ基盤における「取り込み」は、ディスカバリーに限定されるものではありません。CMDB属性、特にディスカバリーでは提供できない属性を入力および維持するための、信頼できる情報源とメカニズムを確立することも含まれます。

保証期間の満了日は、発見不可能なデータの典型的な例です。通常、保証期間はデバイスの照会ではなく、調達システム、資産リポジトリ、ベンダー、または契約ツールから取得されます。

適切なアプローチは、信頼できる外部ソースから定期的にデータをインポートすることで、これらの属性を維持することです。これにより、大規模な環境下でも継続的な正確性と一貫性が確保されます。定期的なインポートにより、再現可能な統合パターンを定義し、データ品質チェックを適用し、ベンダーや調達記録の変更に応じて保証データを最新の状態に保つことができます。これは、時間の経過とともに必然的にずれが生じる手動更新に頼る必要をなくす効果があります。

オプションAは、CMDB調整エンジンが複数のデータソース間の競合を解決し、優先順位ルールを適用するものであり、保証値を無から生成するものではないため、誤りです。調整は、更新が発生した際にどのソースが優先されるかを決定するのに役立ちますが、保証属性値を提供するソースフィードは依然として必要です。オプションBも、検出不可能な属性を保持するためだけに新しいCIクラスを作成すると、モデルが断片化され、レポート作成やプロセスが複雑になるため、推奨されません。ベストプラクティスは、属性を適切なハードウェアCIクラス (または該当する場合は関連する正規化構造) に保持し、権威あるシステムからの統制された取り込みを通じて管理することです。したがって、Cが最良の方法です。

最新問題: 4

どのタイプのCMDBデータマネージャーポリシーが、割り当てられた個人がCIレコードのフィールドを更新できるようにするタスクを作成しますか？

A. 監査

B. 認証

C. 証明書

D. コンプライアンス

Answer: (解答を表示する)

CMDBガバナンスにおいて、CMDBデータマネージャーのポリシータイプは、それぞれ異なる検証および適用目的を果たします。特定の担当者がCIレコードの特定のフィールドを確認および更新できるようにすることが目的の場合、適切なポリシータイプは認証です。

認証ポリシーは、担当者がライフサイクルステータス、サポートグループ、環境、所有権などの特定の構成アイテム属性を検証し、必要に応じて修正することを要求する実行可能なタスクを作成します。認証中、ユーザーは構成アイテムのフィールドを直接更新して、レコードを定義された標準に準拠させることができます。

最新問題: 5

CMDBデータマネージャーは、ServiceNowプラットフォームにアクセスして、CIライフサイクル操作を自動化および統制するポリシーを作成、公開、管理し、CMDBが健全かつ効率的に維持されるようにする必要があります。

データマネージャーはどこでこれを実行できますか？

- A. CIクラスマネージャー
- B. CMDBワークスペース - 管理タブ
- C. サービス運用ワークスペース
- D. CMDBワークスペース - CMDB 360タブ

Answer: (解答を表示する)

データ基盤における「ガバナンス」とは、標準を定義するだけでなく、CMDBデータを長期にわたってクリーンに保つための反復可能な制御を実装することでもあります。CMDBデータマネージャーは、削除、アーカイブ、認証などのポリシー主導型CIライフサイクル操作のために特別に構築されたServiceNowの機能です。データマネージャーは、単発のスクリプトや手動によるクリーンアップに頼るのではなく、一貫したライフサイクルルールを大規模に適用します。これは、CMDBデータ基盤ガバナンスの中核となる要件です。

これらのライフサイクルポリシーを管理する場所は、CMDBワークスペースの管理領域内です。データマネージャーツールは、専用のポリシー管理画面を提供します。そこから、データマネージャーは新しいポリシーを作成、公開し、ライフサイクル処理の自動化に使用される既存のポリシーを管理できます。これは、自動化された標準化されたアクションと、必要に応じて管理された承認を通じてガバナンスを運用化するため、CMDBを健全かつ効率的に維持する」という意図に合致しています。

対照的に、CIクラスマネージャは、CIライフサイクル自動化ポリシーを公開するのではなく、主にCIクラスの定義とクラスレベルの設定（識別調整、健全性ルールに関連するクラス構成など）を管理することを目的としています。CMDB 360」はCI/サービスコンテキストの探索に特化しており、「Service Operations Workspace」はCMDBライフサイクルポリシーの管理ではなく、運用ワークフロー向けに設計されています。

最新問題: 6

CMDB管理者は、経営陣へのプレゼンテーションに必要な情報を収集するよう指示されました。管理者は、重複CI、孤立CI、および古いCIのメトリックを提供する必要があります。

CMDBヘルスダッシュボードでこの情報を提供するスコアカードはどれですか？

- A. 正確性
- B. コンプライアンス
- C. 完全性

Answer: B (メッセージを残す)

データ基盤における「インサイト」とは、健全性指標を用いてCMDBの信頼性と運用上の使いやすさを評価することです。CMDB健全性ダッシュボードは、健全性をスコアカードに整理し、関連するチェック項目をグループ化します。経営陣が重複CI、孤立CI、古いCIについて質問する場合、単にフィールドが入力されているかどうかではなく、CMDBの継続的な健全性とガバナンス要件への準拠について尋ねています。

最新問題: 7

2つ選択してください

CMDB管理者は、CMDBデータ基盤ダッシュボードに表示されている問題を解決するために、「サービスに所有者が特定されている」というGet Wellプレイブックを実行したいと考えています。

どの修復策が用いられるのか？

- A. データの修正
- B. データ分析
- C. レポートデータ
- D. データの管理

Answer: (解答を表示する)

CMDBデータ基盤ダッシュボードは、管理者が構造化された修復手順を理解できるようガイドするGet Wellプレイブックと連携しています。サービスに所有者が特定されている」プレイブックは、サービスの所有権のギャップを解消することに重点を置いており、これはガバナンスとデータ修正活動です。

データの修正 オプションA)は、所有者フィールドへの入力、担当グループの割り当て、関係性の更新など、欠落または誤った値を修正するために使用されます。このプレイブックでは、サービスの所有者を割り当てることで問題を実際に解決するために、データの修正アクションが必要です。

データ管理 オプションD)も必須です。なぜなら、所有権は一度限りの修正ではなく、継続的に強制され、維持されなければならないからです。データ管理は、ポリシー、所有権の責任、および管理策（認証や証明など）を確立することで、サービスが長期にわたって所有者を持ち続け、後退しないようにします。

データ分析 オプションB)は、パターンや根本原因を理解するために使用されますが、問題を解決するものではありません。

レポートデータ オプションC)は、可視性とコミュニケーションを提供するものであり、是正措置を提供するものではありません。

したがって、Services Have Owners Identified」プレイブックに適用される修復プレイは Fix Data」と Govern Data」であり、オプションAとDが正解となります。

最新問題: 8

管理者はどこで自然言語クエリ (NLQ)を実行できますか？

A. CMDBヘルスダッシュボード

B. CMDBワークスペース

C. CIクラスマネージャー

D. CMDBデータマネージャー

Answer: B ([メッセージを残す](#))

データ基盤における「インサイト」トピックは、CMDBおよびサービスデータを容易に発見、理解、運用上の意思決定に活用できるようにすることです。自然言語クエリ (NLQ)は、管理者や実務担当者が平易な言葉で質問（例えば、特定の構成アイテム、サービス、または関係性の検索）を行い、複数のテーブルやフィルターを操作することなく、関連する結果を迅速に取得できるようにすることで、この目的をサポートします。

NLQはCMDBワークスペースで実行されます。なぜなら、CMDBワークスペースは、構成データの探索、関係性の視覚化、およびCMDBからのインサイトの取得をガイド付きで行うための主要なユーザーエクスペリエンスだからです。CMDBワークスペースは、CMDBユーザーがCI情報を検証し、依存関係を調べ、ワークスペース機能を使用してトラブルシューティングと分析を行うための中心的なハブとして設計されています。

NLQはまさにこの分野に最適です。高度なクエリ構築や手動によるレポート作成の必要性を減らすことで、発見と分析を加速させます。

最新問題: 9

金融サービス会社のエンタープライズアーキテクトが、企業全体にわたって業務を行い、各部門の能力を追跡したいと考えています。どのCSDM 5ドメインが使用されますか？（1つ選択してください）

A. 基礎

B. 構築と統合（構築）

C. サービス消費（販売／消費）

D. 設計・企画（デザイン）

E. サービス提供（技術管理）

Answer: D ([メッセージを残す](#))

CSDMバージョン5では、企業全体の機能追跡は設計・計画ドメイン内に明確に位置づけられています。このドメインは、エンタープライズアーキテクチャ、ポートフォリオ管理、戦略計画といったユースケースをサポートすることを目的としており、組織全体で活動するエンタープライズアーキテクトにとって最適な選択肢となります。

設計・計画（設計）領域、サービスの構築や提供に先立ち、「ビジネスニーズと、それをどのように設計すべきか」という問いに答えることに重点を置いています。これには、ビジネス機能、バリューストリーム、情報オブジェクト、ビジネスアプリケーション、アーキテクチャ関係といったコアコンセプトが含まれます。ビジネス機能は、組織構造、テクノロジー、実装方法とは無関係に、組織が目標を達成するために行う活動を表します。この抽象化は、特に金融サービスのような規制の厳しい業界において、戦略的な整合性と影響分析が極めて重要となるエンタープライズアーキテクトにとって不可欠です。

最新問題: 10

ACMDB 管理者は、重複する CI の対処と修復を防止するために使用できるツールを理解しようとしています。各機能を対応する結果とドラッグ アンド ドロップします。一部のオプションは適用されない場合があります。

Certification Tasks

CMDB Health Dashboard Correctness Sco

De-Duplication Tasks

De-Duplication Templates

Duplicate CI Remediator

Answer Area

Can be assigned to groups for resolving duplicate CIs

Offers insight into duplicate CIs within the CMDB

Offers a solution to resolve de-duplication tasks in bulk

Provides a wizard to resolve de-duplication tasks individually

Answer:

Certification Tasks

CMDB Health Dashboard Correctness Sco

De-Duplication Tasks

De-Duplication Templates

Duplicate CI Remediator

Answer Area

Certification Tasks

CMDB Health Dashboard Correctness Sco

De-Duplication Templates

Duplicate CI Remediator

Can be assigned to groups for resolving duplicate CIs

Offers insight into duplicate CIs within the CMDB

Offers a solution to resolve de-duplication tasks in bulk

Provides a wizard to resolve de-duplication tasks individually

Explanation:

Feature	Corresponding Outcome
Certification Tasks	Can be assigned to groups for resolving duplicate CIs
CMDB Health Dashboard – Correctness Scorecard	Offers insight into duplicate CIs within the CMDB
De-duplication Templates	Offers a solution to resolve de-duplication tasks in bulk
Duplicate CI Remediator	Provides a wizard to resolve de-duplication tasks individually

InServiceNowでは、重複CI管理は検出、分析、および修復に及びます。

CMDB ヘルス ダッシュボード - 正確性は、重複が存在する場所とその影響を明らかにし、可視性と優先順位付けを提供します。

認証タスクは、統制された解決をサポートし、データの検証と修正を個人またはグループに割り当てることを可能にします。

重複排除テンプレートは一括修復を可能にし、標準化されたマージルールを多数の重複データに適用できる場合に最適です。

Duplicate CI Remediatorは、レコードごとにガイド付きのウィザードを提供し、関係性と履歴を保持することで、より安全な個別の解決策を実現します。

重複排除タスクは、これらのプロセスによって生成される作業項目ですが、それ自体は成果を表すものではないため、適用されません。

このマッピングはCMDBデータ基盤のベストプラクティスに準拠しており、重複データが効率的かつ安全に特定、優先順位付け、および修正されることを保証します。

最新問題: 11

CMDB管理者は、ServiceNow本番インスタンス内に2つの動的調整ルールを設定しました。Server」クラスには、RAMフィールドの最大値を指定する動的調整ルールが設定されています。Windows Server」クラスには、RAMフィールドの報告値が最も多い値を指定する動的調整ルールが設定されています。

Discovery Source	RAM (MB)
Tivoli	4.096
ServiceNow	4.096
LANDesk	2.048
Altiris	8.192

上記のようなマルチソースCMDBのデータに基づいて、サーバーCIのRAMに対してCMDBに追加される値はどれですか？

- A. 2,048 MB
- B. 8,192 MB
- C. 4,096 MB

Answer: B (メッセージを残す)

この質問は、CMDB 360 におけるクラス固有の動的調整ルールの理解にかかっています。

ServiceNowにおけるマルチソースCMDB。

2つの異なる動的ルールが設定されているが、適用されるルールは評価対象のCIクラスによって異なる。

サーバークラスの場合、設定されているルールは RAM属性の最大値」です。

Windows Server クラスの場合、最も多く報告された」というルールが適用されますが、これは CI が Windows Server として評価された場合に限りです。

この質問は、Windows Server CIではなく、Server CIの結果として得られるRAM値を明確に求めています。

したがって、最大値ルールが結果を決定する。

複数の情報源から得られた値を見てみましょう。

- * 2,048 MB (LANDesk)
- * 4,096 MB (ティボリ)
- * 4,096 MB (ServiceNow)
- * 8,192 MB (取得済み)

最大値動的調整ルールでは、IREは、報告頻度や情報源に関係なく、最大の数値を選択します。

最も多く報告されたロジック（結果として4,096 MBになる）は、このルールが別のクラス（Windows Server）用に構成されているため、ここでは適用されません。

このシナリオは、CMDB 360 の重要な原則を示しています。動的な調整はクラスごとに評価され、構成アイテムが実際にその子クラスに分類されていない限り、子クラスのルールは親クラスのルールを上書きしません。

最新問題: 12

医療機関が、患者管理システムに影響を与える重大なインシデントに直面した。医療機関は、混乱を効果的に軽減するために、影響を受けたユーザーを特定する必要がある。

彼らはどのCSDM関連データを活用すべきでしょうか？

- A. 類似のCIのインシデント履歴

- B. 部門別または地域別のサービス内容
- C. サービス環境属性
- D. 影響を受けるCI [task_ci]関連リスト

Answer: B ([メッセージを残す](#))

医療現場において、重大なインシデント発生時に影響を受けるユーザーを特定することは、患者の安全と継続的なケアにとって不可欠です。共通サービスデータモデル (CSDM) では、影響を受けるユーザーを特定する最も効果的な方法は、サービス提供情報、特に部門や場所ごとに定義されているサービス提供情報を用いることです。

サービス提供内容は、特定のユーザーグループがサービスをどのように利用するかを表します。この場合、患者管理システムは、救急、入院治療、外来サービスなどの部門ごとに異なるサービスを提供したり、病院の所在地ごとに範囲を限定したりすることができます。これらのサービス提供内容は、利用者の状況を明確に定義するため、インシデント対応者は、どの臨床医、スタッフ、または施設が影響を受けているかを即座に特定できます。

最新問題: 13

CMDB 管理者は、CMDB 360/マルチソース CMDB を設定する必要があります。システム プロパティを機能にドラッグ アンド ドロップします。一部のオプションは適用されない場合があります。

Enables logging for CMDB 360

Enables capturing CMDB 360 data for CIs from non-CMDB classes

Enables CMDB 360

Enables capturing CMDB 360 data for CIs from CMDB classes

Maximum number of CIs that can be included in a CMDB 360 recompute operation

Answer Area

glide.identification_engine.multisource_enabled

glide.identification_engine.multisource_cmdb_ci_enabled

glide.cmdb.logger.source.cmdb_multisource

glide.identification_engine.multisource.recompute.max.ci.limit

Answer:

Enables logging for CMDB 360

Enables capturing CMDB 360 data for CIs from non-CMDB classes

Enables CMDB 360

Enables capturing CMDB 360 data for CIs from CMDB classes

Maximum number of CIs that can be included in a CMDB 360 recompute operation

Enables CMDB 360

Enables capturing CMDB 360 data for CIs from CMDB classes

Enables logging for CMDB 360

Maximum number of CIs that can be included in a CMDB 360 recompute operation

glide.identification_engine.multisource_enabled

glide.identification_engine.multisource_cmdb_ci_enabled

glide.cmdb.logger.source.cmdb_multisource

glide.identification_engine.multisource.recompute.max.ci.limit

Explanation:

Functionality	System Property
Enables CMDB 360	<code>glide.identification_engine.multisource_enabled</code>
Enables capturing CMDB 360 data for CIs from CMDB classes	<code>glide.identification_engine.multisource_cmdb_ci_enabled</code>
Enables logging for CMDB 360	<code>glide.cmdb.logger.source.cmdb_multisource</code>
Maximum number of CIs that can be included in a CMDB 360 recompute operation	<code>glide.identification_engine.multisource_recompute.max_ci_limit</code>

ServiceNowでは、CMDB 360 / Multisource CMDBが識別および調整エンジン (IRE)を拡張し、マルチソースの可視性、調整、および信頼性スコアリングをサポートします。構成はシステムプロパティを通じて制御され、各プロパティは特定の機能を有効にします。

`glide.identification_engine.multisource_enabled` は、CMDB 360 の機能を有効にするマスター スイッチです。

`glide.identification_engine.multisource_cmdb_ci_enabled` は、CMDB 360 が特に CMDB CI クラスからデータを収集および評価できるようにします。

`glide.cmdb.logger.source.cmdb_multisource`は、マルチソースの取り込みと調整のトラブルシューティングのための詳細なログ記録を有効にします。

`glide.identification_engine.multisource_recompute.max_ci_limit` は、再計算操作中に処理できる CI の数を制限することでパフォーマンスを保護します。

CMDB 360 以外のクラスからデータを取得することはサポートされていないため、そのオプションにはプロパティが適用されません。

このマッピングは、データ基盤とCMDBガバナンスのベストプラクティスに準拠しており、CMDB 360が安全かつ透過的に、大規模に展開されることを保証します。

最新問題: 14

CMDB管理者は、CMDBデータ基盤ダッシュボードに表示される指標を監視するかどうかを評価している。

このダッシュボードで結果を継続的に監視するという決定を裏付けるメリットは何ですか？

(2つ選択してください)

- A. 健康監査に不合格となったすべてのCIのリストを提供します
- B. 過去90日間に更新されたアクティブなCIに関する指標を提供します。
- C. 識別 調整エンジン (IRE)によって処理された構成アイテム (CI)のメトリクスを提供します。
- D. CMDB内のすべての孤立した構成アイテムに関するレポート

Answer: (解答を表示する)

ServiceNowのCMDBデータ基盤ダッシュボードは、特定の時点の問題リストだけでなく、CMDBの取り込みおよび保守プロセスがどの程度適切に機能しているかを、継続的な傾向分析に基づいて可視化することを目的としています。そのため、その指標を継続的に監視することが重要です。

選択肢Bが正解です。過去90日間に更新されたアクティブな構成アイテム (CI)を追跡することで、データの鮮度と運用上の関連性を強力に示すことができます。健全なCMDBは、ディスカバリ、統合、および管理された手動プロセスからの最新の更新を反映している必要があります。この指標を継続的に監視することで、組織は停滞、ディスカバリの失敗、または統合の問題を早期に検出できます。

オプションCも正解です。識別 調整エンジン (IRE)によって処理される構成アイテム (CI)のメトリクスは、管理された取り込みプラクティスの有効性と導入状況を直接的に示します。IREによる一貫した処理は、統合が識別ルールを回避していないこと、重複が削減されること、そしてCMDBデータへの信頼性が向上することを裏付けます。このメトリクスの傾向を分析することで、データ基盤の成熟度を検証できます。

最新問題: 15

プラットフォームデータオーナーは、5つのデータソースにわたるデータ照合ルールを用いて、データ品質を向上させたいと考えている。

データ所有者は、検出ソースの管理と監視にはCMDB 360 / Multisource CMDBを含めるのが最善の選択肢であることを認識しています。しかし、同社は現在、CMDB 360に必要なITOM Discoveryライセンスを保有していません。

マルチソースCMDB。

この場合、データ所有者は何ができるでしょうか？

A. IRE調整ルールは、CMDB 360が有効になっているかどうかに関わらず、検出ソースを使用できます。

B. マルチソースIREルールを活用するには、ITOM Discoveryを購入する必要があります。

C. CMDB 360 / Multisourceはすぐに使用できるプラットフォーム製品です

Answer: A (メッセージを残す)

最新問題: 16

CMDB管理者は、メンバーCIのグループ連携をより適切に維持するために、動的CIグループに基づいて多数のテクノロジー管理サービスオフアリング (テクニカルサービスオフアリング) を構築しました。

動的CIグループと関連付けられているオフアリングのCIと同期されるグループはどれですか？

(2つ選択してください)

A. 承認グループ

B. グループが管理

C. グループ所有

D. サポートグループ

Answer: (解答を表示する)

ServiceNowでは、動的CIグループは、手動によるメンテナンスではなくルールに基づいてCIメンバーシップを自動的に管理するために使用される、データ基盤の中核機能です。テクノロジー管理サービスオフアリング (テクニカルサービスオフアリング) が動的CIグループに関連付けられている場合、ServiceNowはその関係を利用して、運用サポート属性をメンバーCIに同期します。

このモデルにおいて意図的に同期するように設計されている2つのCI属性は、管理グループ」と サポートグループ」です。これらのグループは運用上の所有権とサポートのルーティングに直接影響を与えるため、動的CIグループを使用すると自動的に連携されます。

これにより、CIメンバーシップが時間とともに変化しても、インシデント、変更、問題、および運用タスクが一貫してルーティングされることが保証されます。

サポートグループは、日々の運用サポートを提供する担当者を定義し、インシデント管理およびリクエスト管理のワークフローにおいて重要な役割を果たします。管理対象グループは、構成アイテム (CI) の技術ライフサイクルと運用健全性を担当するチームを表します。これらの属性を同期することで、手動による更新が不要になり、チケットの誤配も減少します。これは、構成管理の成熟度を高める上で重要な目標です。

有効な **CIS-DF** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CIS-DF 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CIS-DF** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CIS-DF 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CIS-DF 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/ServiceNow/CIS-DF-mondaishu.html> (**20530%OFF**問題集溶と正解付きで **30%**w特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

ハードウェアCIクラスの識別ルールが以下のように定義されています。



Identifier Entries Table	Criterion attributes	Priority
Serial Number	serial_number, serial_number_type	100
Hardware	asset_number	200
Hardware	name	300
Network Adapter	mac_address, name	400

CMDBのHardwareクラスに、2つの新しいCIレコードがインポートされます。

CI1: このCIレコードの名前は、CMDBに存在する既存のCIレコードの名前と一致します。

CI2: このCIレコードのIPアドレスは、CMDB内の既存のCIレコードのIPアドレスと一致します。

識別ルールとインポートされたCIレコードに基づくと、どちらが正しいですか？

- A. CI1は新規レコードとして挿入され、CI2は一致するレコードで更新されます。
- B. CI1とCI2は両方とも新規レコードとして挿入されます
- C. CI1は一致するレコードで更新され、CI2は新しいレコードとして挿入されます。
- D. CI1とCI2の両方に一致するレコードが更新されます

Answer: B (メッセージを残す)

この質問は、ServiceNow において、識別および調整エンジン (IRE) が受信した CI データを識別ルールとその優先順位に基づいてどのように評価するかについての理解度を測るものです。

示されている識別ルールから：

シリアル番号 {タイプ}# 優先度 100

シリアル番号# 優先度200

名前 {ハードウェア}# 優先度 300

MACアドレス+名前 {ネットワークアダプタ}#優先度400

CIが識別され、照合されるためには、受信レコードがそのクラスに対して定義されているとおり、完全な識別子エントリを1つ満たす必要があります。

CI1（名前のみ一致）

名前は既存のハードウェアCIと一致しますが、名前だけでは優先度の低い識別子（300）であり、優先度の高い識別子が存在せず、かつ識別子の入力条件が完全に満たされている場合を除き、ハードウェアCIを一意に識別するには不十分です。実際には、ハードウェア識別は誤検出を避けるため、名前のみ的一致ではなく、シリアル番号に基づく識別子に依存しています。したがって、CI1は確実に一致しないため、新規レコードとして挿入されます。

CI2（IPアドレスの一致）

IPアドレスは、表示されているハードウェア識別ルールには含まれていません。IPアドレスは通常、検出時の相関関係やネットワーク関係の特定に使用され、主要なハードウェア識別子としては使用されません。識別子エントリにIPアドレスが含まれていないため、CI2は有効な識別ルールに一致せず、新規レコードとして挿入されます。

どちらのCIも有効な識別子エントリを満たしていないため、両方のレコードは新しいCIとして挿入されます。

最新問題: 18

従来のCMDBステータス属性からCSDMライフサイクルオブジェクトへの移行には、いくつかの手順を踏む必要があります。

オブジェクト／属性を正しい説明にドラッグ&ドロップしてください。

life_cycle_stage_status

life_cycle_object

life_cycle_mapping

life_cycle_stage

Answer Area

This table is pre-populated with mappings for legacy status value based on its table, to the best-fit CSDM life-cycle value pair.

This is a record attribute that reflects a meta-level state of the record life cycle.

This is a record attribute that reflects a sub-level state of the record life cycle.

This table uses the type of CI (hardware, document, logical, etc.) to determine which sub-level life cycle state values are available.

Answer:

life_cycle_stage_status

life_cycle_object

life_cycle_mapping

life_cycle_stage

Answer Area

life_cycle_mapping

life_cycle_stage

life_cycle_stage_status

life_cycle_object

This table is pre-populated with mappings for legacy status value based on its table, to the best-fit CSDM life-cycle value pair.

This is a record attribute that reflects a meta-level state of the record life cycle.

This is a record attribute that reflects a sub-level state of the record life cycle.

This table uses the type of CI (hardware, document, logical, etc.) to determine which sub-level life cycle state values are available.

Explanation:

Object / Attribute	Correct Description
life_cycle_mapping	This table is pre-populated with mappings for legacy status values; based on this table, legacy values are mapped to the best-fit CSDM lifecycle value pair.
life_cycle_object	This table uses the type of CI (hardware, document, logical, etc.) to determine which sub-level lifecycle state values are available.
life_cycle_stage	This is a record attribute that reflects a meta-level state of the record lifecycle.
life_cycle_stage_status	This is a record attribute that reflects a sub-level state of the record lifecycle.

CSDMに準拠したライフサイクル管理への移行にあたり、ServiceNowは、高レベルの意図と詳細な運用状態を分離する構造化されたライフサイクルフレームワークを導入します。

ライフサイクルステージは、構成アイテムの存在におけるマクロフェーズを表します（例：計画構築、展開、運用、廃止）。

ライフサイクルステージステータスは、CIタイプによって異なる、より詳細なサブレベルの状態によってそのフェーズを細分化します。

ライフサイクルオブジェクトは、管理対象のCIの種類（ハードウェア、アプリケーション、ドキュメントなど）に基づいて、どのライフサイクルステージとステータスが適用されるかを決定します。

ライフサイクルマッピングは、既存の値を標準化されたCSDMライフサイクル値に変換することで、従来のステータスフィールドからの安全な移行を保証し、データ損失やプロセスの中断を回避します。これらのオブジェクトを組み合わせることで、一貫性のあるライフサイクルガバナンスが可能になり、レポートの精度が向上し、ITSM、ITOM、IRMのユースケース全体にわたる自動化がサポートされると同時に、従来のCMDBデータとの下位互換性も維持されます。

最新問題: 19

共通サービスデータモデル (CSDM)によると、サーバーチームはインフラストラクチャ要求のためにカタログアイテムを作成するよう要求している。

リクエストの開始と要件の定義には、どの役割が関わっていますか？

- A. アプリケーションサービスオーナー
- B. テクノロジーサービスオーナー
- C. エンタープライズアーキテクト

Answer: ([解答を表示する](#))

CSDMでは、テクノロジーサービス およびそのサービス提供内容)は、社内チームによる技術的機能の提供方法と利用方法を表します。サーバーチームがインフラストラクチャサービス VMプロビジョニング、ストレージ、OSビルドなど)のカタログアイテムを要求する場合、要求を開始し要件を定義する役割は、テクノロジーサービスオーナーです。

テクノロジーサービスオーナーは、インフラストラクチャサービスを提供するために必要な運用能力、制約、SLA、および履行ワークフローを理解しています。彼らは、オプション、承認、履行タスク、ガードレールなどのカタログ要件を定義し、要求が標準化、セキュリティ、および運用準備状況に合致していることを確認します。

アプリケーションサービスオーナーは、インフラストラクチャカタログ項目の定義ではなく、アプリケーションの提供方法とサポート方法に重点を置きます。エンタープライズアーキテクトは標準とガイダンスを提供しますが、カタログ要求要件の開始や定義は行いません。

最新問題: 20

構成マネージャーは、CMDB内の同じクラスおよび同じクラス属性セットを更新する権限を持つ複数のデータソースを構成しました。

構成マネージャーは、特定のクラスまたはクラス属性セットに関して、どのデータソースを信頼できる情報源とするかを制御するために、どのようなことができますか？

- A. 調整ルールで各データソースに優先順位を割り当てる
- B. データソースの更新を正しい順序で手動で実行する
- C. 特定の期間でデータ更新ルールを設定します
- D. 識別ルール内の各データソースに実行順序を割り当てる

Answer: A ([メッセージを残す](#))

ServiceNowでは、複数の承認済みデータソースが同じCI属性を更新する場合に、ソースの優先順位を制御することは、識別および調整エンジン (IRE) ガバナンスの中核的な責任です。

正しい推奨方法は、調整ルールにおいて各データソースに優先順位を割り当てることです。

調整ルールは、複数のソースが構成アイテム (CI) 上の同じ属性を更新しようとした場合に、どのソースが優先されるかを決定します。ソースの優先順位を定義することで、構成マネージャーは、最も権威のある記録システム たとえば、手動インポートよりも検出システム、スプレッドシートよりも人事システムなど)が、特定の属性またはクラスを一貫して制御することを保証します。

最新問題: 21

開発チームは、多数のサーバーにアプリケーションをデプロイするプロジェクトに取り組んでいます。このアプリケーションは顧客の個人データ (PIIおよびPCI)を保持するため、法的規制を遵守するために、いくつかのセキュリティ要件を確認する必要があります。

開発チームは、監査に対応するために使用する情報をCSDMのどこに保存すべきでしょうか？

- A. 技術管理サービス (技術サービス)およびグループ
- B. ビジネスアプリケーションと情報オブジェクト
- C. 顧客サービス内容とデータベース

Answer: ([解答を表示する](#))

共通サービスデータモデル（CSDM）においては、規制、セキュリティ、コンプライアンス関連情報（特に個人情報 PII）およびPCI DSS）は、インフラストラクチャレベルやサービス提供レベルではなく、ビジネスレベルおよび情報レベルでモデル化する必要があります。これらのデータの適切な保管場所は、情報オブジェクトと統合されたビジネスアプリケーションです。

ビジネスアプリケーションとは、ビジネスの機能やプロセスをサポートする論理的なアプリケーションのことです。

GDPR、PCI-DSS、HIPAAなどのコンプライアンス義務は、アプリケーションをホストするサーバーの数ではなく、企業がどのようにデータを使用するかに基づいて評価されるため、これは監査に関連するコンテキストの適切な基準点となります。

情報オブジェクトは、アプリケーションによって処理、保存、または送信されるデータ（個人情報PCI、医療情報、機密性の高いビジネスデータなどのデータ分類を含む）をキャプチャするために明確に設計されています。これにより、組織はCIレコードに過負荷をかけたり、インフラストラクチャクラスを汚染したりすることなく、規制範囲、保持ルール、暗号化要件、および監査制御を文書化できます。

選択肢Aは、技術サービス提供内容とグループが運用サポートとサービス提供に焦点を当てており、規制データのコンテキストには焦点を当てていないため、誤りです。選択肢Cも、顧客サービス提供内容がサービスの利用方法を説明するものであり、データベースは技術的な構成要素であるため、誤りです。どちらもコンプライアンス定義の権威ある場所ではありません。

したがって、監査および規制遵守をサポートする上で、ビジネスアプリケーションと情報オブジェクトは適切なCSDM構成要素であり、選択肢Bが正解となります。

最新問題: 22

顧客は、ServiceNow Discoveryによって検出された後、最近インポートされたサーバーレコードをより具体的なCMDBクラスに自動的に再分類することを希望している。

検出プロセス中に、既存のサーバーレコードがLinuxサーバーとWindowsサーバーのクラスに再分類された場合、どの再分類操作が発生しますか？

- A. クラス切り替え
- B. クラスダウングレード
- C. クラスアップグレード

Answer: (解答を表示する)

CMDBのクラス階層において、Serverは汎用的な親クラスであり、Linux ServerとWindows Serverはより具体的な子クラスです。ServiceNow Discoveryが、構成アイテム（CI）を汎用クラスからより具体的なクラスに移動させるのに十分な証拠（OSシグネチャなど）を検出した場合、この操作はクラスアップグレードと呼ばれます。

クラスアップグレードとは、構成アイテム（CI）が階層構造の下位にあるより具体的なサブクラスに再分類され、そのクラスに適した属性、動作、および検出パターンがレコードに追加される現象です。これは、成熟したCMDB実装における標準的かつ想定される動作であり、データ基盤のベストプラクティスにも合致しています。

クラス切り替えとは、関連性のないクラス間での横方向の移動を意味しますが、ここではそうではありません。クラスダウングレードとは、通常、検出の信頼性が低下した場合などに、CIを特定のクラスからより一般的なクラスに戻すことを意味しますが、このシナリオでは該当しません。

Discoveryは、クラスのアップグレードを自動的に実行することで、手動による介入なしにCMDBの精度、レポートの正確性、およびサービスマッピングの品質を向上させます。

したがって、正解はC - クラスアップグレードです。

最新問題: 23

チェンジマネージャーはCSDMから価値を得たいと考えている。

変更管理プロセスはCSDMによってどのようなメリットを得られるでしょうか？ 2つ選択してください

- A. 遮光窓を特定する
- B. 変更問題の根本原因を特定する
- C. 変更を動的にルーティングする
- D. 変更がサービスに与える影響を理解する

Answer: A,D (メッセージを残す)

CSDMは、サービスを考慮したコンテキストを提供することで、変更管理を大幅に強化し、より良い計画策定、リスク評価、およびステークホルダーとのコミュニケーションを可能にします。

重要な利点の1つは、サービス停止期間を特定できることです（オプションA）。CSDMに準拠したビジネスサービス、サービス提供内容、およびサービスカレンダーを通じて、変更管理者は、業務上の制約、規制要件、またはピーク使用期間のためにサービスが変更できない時期を明確に把握できます。これにより、リスクの高い期間に変更がスケジュールされるのを防ぐことができます。

もう一つの重要な利点は、変更がサービスに与える影響を把握できることです（オプションD）。CSDMは、インフラストラクチャ構成アイテム、アプリケーションサービス、およびビジネスサービス間の明確な関係を確立します。変更が提案されると、これらの関係によって正確な影響分析が可能になり、変更管理者は技術的な範囲だけでなく、ビジネス上の重要度に基づいてリスクを評価できます。

最新問題: 24

データセンターマネージャーは、CMDB CIクラスマネージャーと協力して、アプリケーションサーバーとそれらがホストするアプリケーションとの関係を定義しています。この会社には、1つ以上のアプリケーションをホストする複数のアプリケーションサーバーがあります。

アプリケーションサーバーテーブル[cmdb_ci_app_server]とアプリケーションテーブル[cmdb_ci_appl]の関係を説明しているのはどれですか？

- A. 多対多
- B. 一対多
- C. 多対一
- D. 1対1

Answer: A ([メッセージを残す](#))

データ基盤の「構成」には、実際のテクノロジーの依存関係を反映し、影響分析、トラブルシューティング、サービス マッピングなどの運用上のユース ケースをサポートする方法で CI 関係をモデル化することが含まれます。「アプリケーション サーバーがアプリケーションをホストする」シナリオでは、複数のアプリケーション サーバーが 1 つ以上のアプリケーションをホストできることが説明されています。ほとんどのエンタープライズ 環境では、その逆も真です。アプリケーションは、複数のアプリケーション サーバーにまたがってホストできます (たとえば、水平スケーリング、クラスタ デプロイメント、アクティブ / アクティブ アーキテクチャ、同じアプリケーションの異なる階層またはコンポーネント用の別々のサーバーなど)。

両方の側が複数の関連レコードを持つことができるため、正しい論理関係は多対多です。

1台のアプリケーションサーバーで複数のアプリケーションをホストできます。

1つのアプリケーションは、複数のアプリケーションサーバー上でホストできます。

ServiceNow CMDBの用語では、多対多の関係はCMDB関係モデル（親子関係によって表現され、プラットフォームはサーバーとアプリケーションをリンクする複数の関係レコードを、不自然な単一参照制約を強制することなく保存できます。

これは、CMDBの品質向上と下流工程における成果の強化に役立ちます。特に、インシデントトリアージ（「このサーバーがダウンした場合、どのアプリケーションが影響を受けるか？」）や変更影響分析（「このアプリケーションコンポーネントを変更した場合、どのサーバーが影響を受ける可能性があるか？」）において効果を発揮します。

一対多または多対一のモデルでは、サーバーを一つのアプリケーションに限定したり、アプリケーションを一つのサーバーに限定したりすることになり、一般的なホスティングパターンと合致しないため、CMDBの有用性と精度が低下します。

最新問題: 25

CMDB管理者は、例えばインシデントフォームからアクセスできるCI参照フィールドなど、CI参照フィールドには主要クラスのCIのみが表示されるようにしたいと考えています。

CMDB管理者は、プリンシパルクラスをどこで指定しますか？

- A. CMDBワークスペース
- B. CIクラスマネージャー
- C. CMDBデータマネージャー
- D. システム特性

Answer: B ([メッセージを残す](#))

データ基盤における「構成」には、特にインシデントや変更などのITSMプロセスにおいて、運用上の使いやすさをサポートするようなCMDBデータモデルの設計が含まれます。使いやすさに関する一般的な課題の1つは、CI参照フィールド（「インシデントの「構成アイテム」フィールドなど）が、高度な技術を要するクラスや使用頻度の低いクラスを含むすべてのCIクラスから選択できるようにすると、煩雑で分かりにくくなる可能性があることです。この問題を解決するために、ServiceNowはプリンシパルクラスという概念を採用しています。これは、運用上の選択とレポート作成において主要なCIクラスとして選定されたサブセットです。

主要クラスは CI クラスマネージャで指定されます。これは、管理者が CI クラスの動作とクラスレベルの設定を構成および管理する場所だからです。クラス管理レイヤーで主要クラスを定義することで、プラットフォームは CI 参照フィールドと関連するエクスペリエンス全体にこの制約を一貫して適用できます。これは、データ基盤の目標、つまり、ユーザーが適切な CI を選択しやすくすることでデータ品質とプロセス結果を向上させ、結果として割り当て、ルーティング、影響分析、および分析の精度を高めるという目標と一致します。

他のオプションは、この役割に適していません。CMDB Workspace は主に CMDB データの探索と分析に使用され、クラスレベルの制約の設定には使用されません。CMDB Data Manager は、CI クラス指定ルールではなく、ガバナンスの自動化 (ライフサイクル ポリシーや一括修復操作など) に重点を置いています。システム プロパティはグローバルな動作に影響を与える可能性があります、プリンシパル クラスの指定は CI クラス構成を通じて処理されるモデリング構成であるため、CI クラス Manager が適切な場所です。

最新問題: 26

CMDBオーナーはCSDMの取り組みを開始し、CSDMドメインについて熟知する必要があります。
CMDBオブジェクトを正しいCSDMドメインにドラッグしてください。



Answer:



Explanation:

CMDB Object	CSDM Domain
Business Process	Design and Planning domain
Business Application	Foundation domain
Application Service	Service Delivery domain
Business Service	Sell / Consume domain

共通サービスデータモデル (CSDM)は、CMDBデータを、サービスの計画、提供、および利用方法を反映するドメインに整理します。オブジェクトの適切な配置は、レポート作成、所有権の明確化、および下流のITSM、ITOM、IRMのユースケースにとって不可欠です。

設計および計画領域 # ビジネスプロセス

ビジネスプロセスとは、事業運営の方法と必要な機能を説明するものです。これらは、サービスやアプリケーションを構築または提供する前に設計するために使用される計画構成要素です。

基盤ドメイン # ビジネスアプリケーション

ビジネスアプリケーションは、どのようなアプリケーションが存在し、誰が所有しているかを示す、基盤となる参照オブジェクトです。これらは所有権、ライフサイクル、ガバナンスの基盤となりますが、直接的な運用には関与しません。

サービス提供ドメイン # アプリケーションサービス

アプリケーションサービスは、実行中の運用技術サービスを表します（多くの場合、サービスマッピングによって作成されます）。

これらはインシデント管理、変更管理、イベント管理の中核を成すものであり、サービス提供の一部を構成する。

販売/消費ドメイン # ビジネスサービス

ビジネスサービスとは、顧客や消費者に提供されるものを指します。これらは価値提供、サービスレベル契約 (SLA)、および消費状況を定義するため、販売／消費領域に属します。

このマッピングはCSDM v5のガイダンスに準拠しており、計画構成要素、基本記録、運用サービス、および顧客向けサービス間の明確な分離を保証します。これは、拡張性と統制性を備えたCMDBの重要な原則です。

最新問題: 27

CMDB管理者は、シアトルにあるアプリケーションサービスに接続されているすべてのデータベースを検索するCMDBクエリを作成したいと考えています。また、それらのデータベースに関連するインシデントもクエリに含めたいと考えています。

このクエリを作成するために、どのような手順を踏むべきですか？ 2つ選択してください)

A. 非CMDBテーブルリストからインシデントテーブルをキャンバスに追加します。

B. アプリケーションサービスノードにプロパティ列を追加します

C. データベースノードにロケーション=シアトルのフィルタを追加します。

D. 関係レベルを最大2レベルの関係に設定します

Answer: (解答を表示する)

ServiceNowのCMDBクエリビルダーを使用して高度なCMDBクエリを作成する場合、正しいアプローチは、CIのスコープ、関係性、およびタスクのコンテキストをキャンバス上で明示的にモデル化することです。

結果を特定の場所にあるデータベースに限定するには、管理者はデータベースCIノードをLocation属性でフィルタリングする必要があります。したがって、クエリをLocation = SeattleのデータベースCIに絞り込むには、オプションCが必要です。

これらのデータベースに関連するインシデントを含めるには、非 CMDB テーブル リストからインシデント テーブルを追加し、task_ci リレーションシップを介してリンクする必要があります。これはまさにオプション A が提供する機能です。CMDB クエリ ビルダーは CMDB テーブル (CI) をタスク テーブルやトランザクション テーブルから分離しているため、インシデントは非 CMDB セクションから明示的に追加する必要があります。

最新問題: 28

金融サービス会社のエンタープライズアーキテクトが、企業全体にわたって業務を行い、各部門の能力を追跡したいと考えています。どのCSDM 5ドメインが使用されますか？ 1つ選択してください)

A. 基礎

B. 構築と統合（構築）

C. サービス消費（販売／消費）

D. 設計 企画 デザイン)

E. サービス提供（技術管理）

Answer: D (メッセージを残す)

CSDMバージョン5では、企業全体の機能追跡は設計・計画ドメイン内に明確に位置づけられています。このドメインは、エンタープライズアーキテクチャ、ポートフォリオ管理、戦略計画といったユースケースをサポートすることを目的としており、組織全体で活動するエンタープライズアーキテクトにとって最適な選択肢となります。

設計・計画（設計）領域、サービスの構築や提供に先立ち、「ビジネスニーズと、それをどのように設計すべきか」という問いに答えることに重点を置いています。これには、ビジネス機能、バリューストリーム、情報オブジェクト、ビジネスアプリケーション、アーキテクチャ関係といったコアコンセプトが含まれます。ビジネス機能は、組織構造、テクノロジー、実装方法とは無関係に、組織が目標を達成するために行う活動を表します。この抽象化は、特に金融サービスのような規制の厳しい業界において、戦略的な整合性と影響分析が極めて重要となるエンタープライズアーキテクトにとって不可欠です。

他のドメインはこの要件を満たしていません。

* Foundationは共有参照データ（企業場所、ユーザー）を提供するが、企業機能をモデル化するものではない。

* ビルドと統合は、アプリケーション開発、CI/CDパイプライン、および統合レイヤーに重点を置いています。

* サービス消費とは、顧客、提供サービス、そしてサービスがどのように消費されるかに関わる概念です。

* サービス提供モデルは、インフラストラクチャやランタイム環境を含む、サービスの運用面および技術面での提供をモデル化します。

データ基盤とCSDMガバナンスの観点から、設計および計画領域におけるエンタープライズ機能の追跡は、以下のことを保証します。

戦略、設計、運用を明確に分離する

* ITIL 4の戦略および計画手法との整合性

* 影響分析、合理化、および変革イニシアチブに対する強力なサポート。したがって、設計および計画（D）は、エンタープライズ能力を追跡するための正しく完全に整合したCSDM 5ドメインです。

最新問題: 29

データセンターマネージャーは、CMDB CIクラスマネージャーと協力して、アプリケーションサーバーとそれらがホストするアプリケーションとの関係を定義しています。この会社には、1つ以上のアプリケーションをホストする複数のアプリケーションサーバーがあります。

アプリケーションサーバーテーブルとアプリケーションテーブルの関係を説明しているのはどれですか？

A. 多対多

B. 多対一

C. 1対1

D. 一対多

Answer: (解答を表示する)

CMDBモデリングにおいて、関係性を正確に定義することは、影響分析、サービスマッピング、および変更管理にとって非常に重要です。このシナリオでは、アプリケーションサーバーは複数のアプリケーションをホストでき、アプリケーションは複数のアプリケーションサーバーにまたがって実行することもできます（たとえば、クラスタ構成、負荷分散構成、または分散構成のアーキテクチャなど）。

このアーキテクチャ上の特性は、アプリケーションサーバーテーブルとアプリケーションテーブル間の多対多の関係を定義します。

ServiceNowでは、アプリケーションホスティングモデルにおいて多対多の関係が一般的です。特に、水平スケーリング、冗長性、コンテナ化されたワークロードを使用する最新の環境では、この関係が顕著です。これを正しくモデル化することで、単一サーバーに影響を与えるインシデント、変更、障害を、影響を受けるすべてのアプリケーションに正確に追跡できるようになり、その逆も同様です。

一対多または多対一の関係では、一方通行の排他性を誤って想定することになり、現実世界のアプリケーション展開パターンを反映しません。一対一の関係では、さらに制約が多く、不正確になります。

最新問題: 30

CMDBのガバナンスを長期的に最も確実に保証できるのはどれか？

A. 1回限りのデータクリーンアップ

B. 手動CI作成を無効にする

C. 継続的なデータ認証とCMDB健全性ダッシュボード

D. 管理者のみにアクセスを制限する

Answer: C (メッセージを残す)

CMDBのガバナンスには、CMDB健全性ダッシュボードによる継続的な監視と、定期的なデータ認証レビューが必要です。

最新問題: 31

インポートセットと変換マップを使用してデータをCMDBに統合する場合、データが識別および調整エンジン (IRE) を通じて処理されるようにするために、どのタイプのスクリプトを追加しますか？

- A. onBefore
- B. 完了時
- C. onAfter
- D. onStart

Answer: C (メッセージを残す)

インポートセットと変換マップを使用してCMDBにデータを取り込む場合、重複を防ぎ、ソースの優先順位を強制するために、レコードを識別および調整エンジン (IRE) で処理することが不可欠です。ServiceNowでは、変換ロジックが完了した後にIREを呼び出すことでこれを実現します。

onAfter変換スクリプトは、IRE APIを呼び出すのに最適な場所です。この段階では、変換されたデータは既にマッピングされ、準備されているため、IREはCIが既に存在するかどうかを正しく識別し、定義されたルールに従って更新を調整できます。

onBeforeスクリプトとonStartスクリプトは、データマッピングが完了する前に実行されるため、IRE処理には適していません。onCompleteスクリプトはインポートジョブ全体が完了した後に実行されるため、レコードごとのCI識別や照合を目的としたものではありません。

インポートセットは正しく設定されていない場合、IREをバイパスしてしまう可能性があるため、この取り込み方法を選択する際には、onAfterスクリプトを使用することがData Foundationsの重要な安全対策となります。

有効な **CIS-DF** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CIS-DF 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CIS-DF** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CIS-DF 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CIS-DF 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/ServiceNow/CIS-DF-mondaishu.html> (20530%OFF問題集溶と正解付きで 30%w特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 32

共通サービスデータモデル (CSDM) によると、サーバーチームはインフラストラクチャ要求のためにカタログアイテムを作成するよう要求している。

リクエストの開始と要件の定義に関わる役割はどれですか？

- A. アプリケーションサービスオーナー
- B. テクノロジーサービスオーナー
- C. エンタープライズアーキテクト

Answer: (解答を表示する)

CSDMでは、テクノロジーサービス (およびそのサービス提供内容) は、社内チームによる技術的機能の提供方法と利用方法を表します。サーバーチームがインフラストラクチャサービス (VMプロビジョニング、ストレージ、OSビルドなど) のカタログアイテムを要求する場合、要求を開始し要件を定義する役割は、テクノロジーサービスオーナーです。

テクノロジーサービスオーナーは、インフラストラクチャサービスを提供するために必要な運用能力、制約、SLA、および履行ワークフローを理解しています。彼らは、オプション、承認、履行タスク、ガードレールなどのカタログ要件を定義し、リクエストが標準化、セキュリティ、および運用準備状況に合致していることを確認します。

アプリケーションサービスオーナーは、インフラストラクチャカタログ項目の定義ではなく、アプリケーションの提供方法とサポート方法に重点を置きます。エンタープライズアーキテクトは、標準とガイダンスを提供しますが、カタログ要求要件を開始または定義することはありません。

したがって、正しい役割はB - テクノロジーサービスオーナーです。

最新問題: 33

構成管理チームは、CMDBに登録されているすべてのサーバーが実際にデータセンターに存在することを確認したいと考えています。チームはどのCMDBデータマネージャーポリシータイプを作成するでしょうか？ (1つ選択してください)

- A. 認証
- B. 削除
- C. アーカイブ
- D. 削除
- E. 証明書

Answer: E ([メッセージを残す](#))

包括的かつ詳細な説明 200〜300語)

ServiceNow Data Foundations 内の CMDB Data Manager は、構成アイテム (CI) のガバナンス、データ品質、ライフサイクル管理をサポートするために、複数のポリシータイプを提供します。ここで説明するシナリオ (CMDB に記録されたサーバーがデータセンターに物理的に存在することを確認する) は、存在検証と所有権確認の典型的な例であり、まさにアテステーション ポリシーの目的に合致しています。認証ポリシーは、データセンター管理者、プラットフォーム所有者、インフラストラクチャチームなどの責任者またはグループによる人的検証を要求するように設計されています。このポリシーは、レビュー担当者が構成アイテム (CI) が有効、正確、かつ現存するかどうかを明示的に確認することを求める認証タスクを生成します。これは、定期的な検証によって記録システムとしてのCMDBへの信頼を確保するという、CMDBガバナンスのベストプラクティスおよびITIL 4サービス構成管理に直接合致しています。

その他の保険契約の種類は、この要件を満たしていません。

- * 認証は通常、物理的な存在ではなく、定義されたデータ標準 (必須項目が入力されていることなど) への準拠を検証するために使用されます。
- * 削除、アーカイブ、および廃止はライフサイクルアクションであり、構成アイテムが既に廃止または不要と判断された後に使用されます。
- * これらの選択肢はいずれも、現実世界における存在を人間が確認することを伴いません。

CSDMおよびデータ基盤の観点から、認証は以下をサポートします。

- * CMDBの正確性と信頼性
- * 監査および規制遵守 (特に金融サービス業界において重要)
- * CIの所有権と検証に関する明確な説明責任

したがって、サーバーが実際に存在することを確認することが目的の場合、正しく完全に整合した CMDB データ マネージャー ポリシー タイプは、アテステーション (E) です。

最新問題: 34

構成マネージャーは統合マップを使用したいと考えています。
どこからアクセスできるのでしょうか？

- A. CIクラスマネージャー
- B. CMDBデータマネージャー
- C. CMDBワークスペース

Answer: ([解答を表示する](#))

統合マップは、構成アイテム、アプリケーションサービス、インフラストラクチャ全体にわたるサービス構成、依存関係、および関係性を理解するために使用される視覚化機能です。ServiceNowでは、統合マップはCMDBワークスペースからアクセスできます。

CMDBワークスペースは、CMDBの運用、分析、および視覚化のための中心的なプラットフォームです。ワークスペース内から、ユーザーは統合マップを起動して、サービスの構築方法を確認したり、依存関係を特定したり、ディスカバリやサービスマッピングからのデータを活用して影響を分析したりできます。

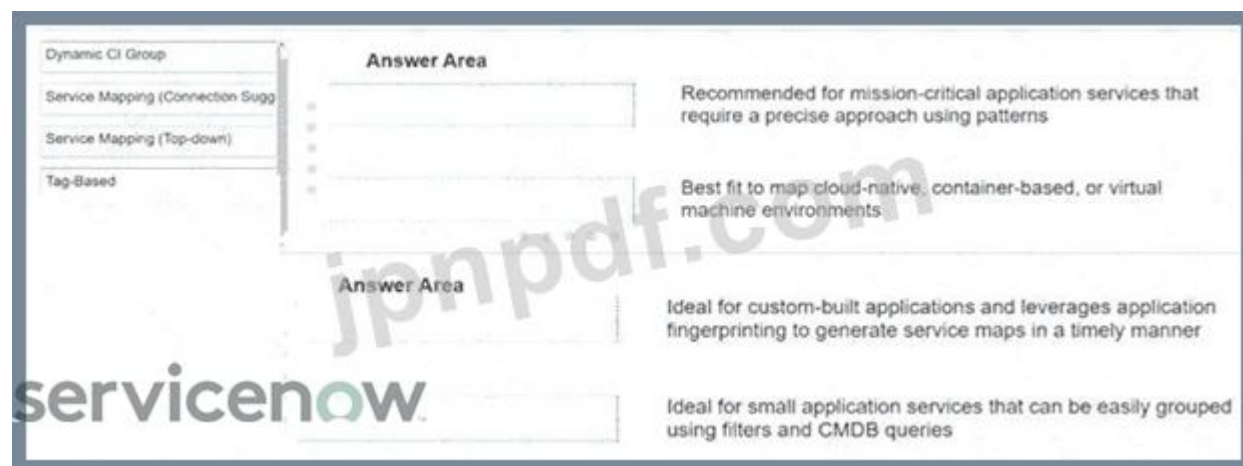
オプションA (CIクラスマネージャー)は、クラス階層、所有権、および主要クラス構成に使用され、視覚化には使用されません。オプションB (CMDBデータマネージャー)は、サービスマッピングビューではなく、アーカイブ、認証、証明などのガバナンスおよびライフサイクルポリシーに重点を置いています。

Unified Mapは運用および分析のための可視化ツールであるため、CMDB Workspace経由で正しくアクセスされます。

したがって、正解はC - CMDBワークスペースです。

最新問題: 35

アプリケーションサービスの種類を、最適な説明にドラッグアンドドロップしてください。



Answer:



Explanation:

サービス マッピング (トップダウン) # パターンを使用して正確なアプローチを必要とするミッション クリティカルなアプリケーション サービスに推奨 タグ ベース # クラウド ネイティブ、コンテナ ベース、または仮想マシン 環境のマッピングに最適 サービス マッピング (接続の提案) # カスタム ビルドアプリケーションに最適で、アプリケーション フィンガープリンティングを活用してサービス マップをタイムリーに生成します 動的 CI グループ # フィルタと CMDB クエリを使用して簡単にグループ化できる小規模なアプリケーション サービスに最適 データ ファンデーション (CMDB + CSDM) では、サービス マップが影響分析、サービスの可視性、および運用ワークフローの基盤となるため、アプリケーション サービスの作成には、正確性、速度、保守性のバランスが取れたアプローチを使用する必要があります。

サービスマッピング (トップダウン方式)は、構造化されたエントリポイントとパターンを使用してインフラストラクチャ、依存関係、および通信経路を正確に検出するため、ミッションクリティカルなサービスに最適です。これにより、厳格なガバナンス、制御された変更、および信頼性の高い障害影響分析に適した高精度のマップが生成されます。

タグベースのマッピングは、クラウドネイティブ環境や動的な環境 (コンテナ、エラスティック仮想マシン、クラウド リソースなど)に最適です。なぜなら、タグ/ラベルは、急速に変化する環境において最も安定した識別子だからです。これは、所有権、環境、サービスとの関連性を標準化されたタグ付け戦略によって表現する、現代のクラウド ガバナンスともよく合致しています。

サービスマッピング (接続提案は、観測された接続データとアプリケーションフィンガープリンティングを活用して可能性の高い依存関係を提案するため、カスタム構築されたアプリケーションに最適です。これにより、従来のパターン優先モデリングよりもサービスマップの作成が迅速化され、チームは検証と改善を続けながら、より迅速に実用的なサービス可視性を実現できます。

動的CIグループは、完全なマップが不要な小規模サービスに最適です。フィルタとCMDBクエリを使用してCIをグループ化することで、マッピングのオーバーヘッドを最小限に抑えながら、レポート作成、所有権、基本的な影響度など、サービスに含まれるものを軽量に定義できます。

最新問題: 36

従来のCMDBステータス属性からCSDMライフサイクルオブジェクトへの移行には、いくつかの手順を踏む必要があります。
オブジェクト/属性を適切な説明にドラッグ&ドロップしてください。

life_cycle_stage_status

life_cycle_object

life_cycle_mapping

life_cycle_stage

Answer Area

This table is pre-populated with mappings for legacy status value based on its table, to the best-fit CSDM life-cycle value pair.

This is a record attribute that reflects a meta-level state of the record life cycle.

This is a record attribute that reflects a sub-level state of the record life cycle.

This table uses the type of CI (hardware, document, logical, etc.) determine which sub-level life cycle state values are available.

Answer:

life_cycle_stage_status

life_cycle_object

life_cycle_mapping

life_cycle_stage

Answer Area

life_cycle_mapping

life_cycle_stage

life_cycle_stage_status

life_cycle_object

This table is pre-populated with mappings for legacy status value based on its table, to the best-fit CSDM life-cycle value pair.

This is a record attribute that reflects a meta-level state of the record life cycle.

This is a record attribute that reflects a sub-level state of the record life cycle.

This table uses the type of CI (hardware, document, logical, etc.) determine which sub-level life cycle state values are available.

Explanation:

Object / Attribute	Correct Description
life_cycle_mapping	This table is pre-populated with mappings for legacy status values; based on this table, legacy values are mapped to the best-fit CSDM lifecycle value pair.
life_cycle_object	This table uses the type of CI (hardware, document, logical, etc.) to determine which sub-level lifecycle state values are available.
life_cycle_stage	This is a record attribute that reflects a meta-level state of the record lifecycle.
life_cycle_stage_status	This is a record attribute that reflects a sub-level state of the record lifecycle.

CSDMに準拠したライフサイクル管理への移行にあたり、ServiceNowは、高レベルの意図と詳細な運用状態を分離する構造化されたライフサイクルフレームワークを導入します。ライフサイクルステージは、構成アイテムの存在におけるマクロフェーズを表します（例：計画構築、展開、運用、廃止）。ライフサイクルステージステータスは、CIタイプによって異なる、より詳細なサブレベルの状態によってそのフェーズを細分化します。ライフサイクルオブジェクトは、管理対象のCIの種類（ハードウェア、アプリケーション、ドキュメントなど）に基づいて、どのライフサイクルステージとステータスが適用されるかを決定します。ライフサイクルマッピングは、既存の値を標準化されたCSDMライフサイクル値に変換することで、従来のステータスフィールドからの安全な移行を保証し、データ損失やプロセスの中断を回避します。

これらのオブジェクトを組み合わせることで、一貫性のあるライフサイクルガバナンスを実現し、レポートの精度を向上させ、ITSM、ITOM、IRMのユースケース全体にわたる自動化をサポートすると同時に、従来のCMDBデータとの下位互換性も維持します。

最新問題: 37

ServiceNow 管理者は、会社が CMDB に統合したい多くのサードパーティ ソリューションとの統合を提供するために、Service Graph コネクタを実装したいと考えています。管理者が利用できるコネクタのカテゴリはどれですか？

- A. クラウド
- B. 可観測性
- C. DevOps
- D. ワークフロー自動化

Answer: A,B (メッセージを残す)

サービスグラフコネクタは、ServiceNowにおける重要なデータ基盤取り込み機能です。これらは、すぐに使用できるアップグレード対応の統合機能を提供し、識別および調整エンジン (IRE) を使用してCMDBにデータを取り込み、データ品質とソースガバナンスを保証します。

サービスグラフコネクタの主なカテゴリは次の2つです。

クラウド オプションA) これらのコネクタは、主要なクラウドプロバイダーおよびプラットフォーム (AWS、Azure、GCPなど) と統合し、インフラストラクチャ、プラットフォーム、およびサービスデータをCMDBに取り込みます。ハイブリッドおよびマルチクラウド環境の管理、および正確なクラウドCI関係の維持に不可欠です。

可観測性 オプションB) これらのコネクタは、監視ツールや可観測性ツール (APM、インフラストラクチャ監視、テレメトリプラットフォームなど) と統合されます。ほぼリアルタイムの運用データを提供し、CIレコードを充実させ、インシデントの相関分析、影響分析、サービス健全性に関する洞察をサポートします。

オプションC (DevOps) は誤りです。DevOpsの統合は通常、サービスグラフコネクタではなく、CI/CDツールやワークフロー統合を通じて処理されます。オプションD (ワークフロー自動化) は無関係です。サービスグラフコネクタはデータ取り込みに重点を置いており、プロセスオーケストレーションには対応していません。

したがって、正しいコネクタのカテゴリはクラウドとオブザーバビリティであり、オプションAとBが正解となります。

最新問題: 38

どのタイプのCMDBデータマネージャーポリシーが、割り当てられた個人がCIレコードのフィールドを更新できるようにするタスクを作成しますか？

- A. 監査
- B. 認証
- C. 証明書
- D. コンプライアンス

Answer: B (メッセージを残す)

CMDBガバナンスにおいて、CMDBデータマネージャーのポリシータイプは、それぞれ異なる検証および適用目的を果たします。特定のCIレコード上の特定のフィールドを、割り当てられた個人が確認および更新できるようにすることが目的の場合、適切なポリシータイプは認証です。

認証ポリシーは、担当者がライフサイクルステータス、サポートグループ、環境、所有権などの特定の構成アイテム属性を検証し、必要に応じて修正することを要求する実行可能なタスクを作成します。認証中、ユーザーは構成アイテムのフィールドを直接更新して、レコードを定義された標準に準拠させることができます。

証明 オプション C) では、CI がまだ存在するか、まだ有効であることをユーザーに確認するだけで、属性レベルの更新を要求したり有効にしたりすることはありません。監査 オプション A) は、修復ではなく、レポート作成と証拠収集に使用されます。

コンプライアンス オプションD) は規則の遵守状況を測定するものであり、編集可能な是正措置タスクを生成するものではありません。

したがって、認証は、CIデータの人的検証と修正が必要な場合に使用される主要なメカニズムであり、CMDBデータ品質管理の礎石となっている。

したがって、正解はB - 認証です。

最新問題: 39

2つ選択してください)

CMDB管理者は、ServiceNowでモノのインターネット (IoT) センサー用の新しいCIクラスを作成する必要があります。

この活動を行う上で推奨される方法は何ですか？

A. 使用されていないクラスを削除し、新しいクラスに置き換えます

B. CMDB CIクラスモデルストアアプリケーションをインストールまたは更新し、クラスが既に存在しないことを確認します。

C. 適切な親クラスの下に新しいクラスを追加します

D. 既存のクラスを変更する

Answer: B,C (メッセージを残す)

新しいCIクラスを作成することは、影響の大きい構成作業であり、長期的な技術的負債やアップグレードのリスクを回避するために、データ基盤およびCSDMに準拠した厳格なベストプラクティスに従う必要があります。

オプションBは推奨される最初のステップです。新しいCIクラスを作成する前に、管理者はCMDB CIクラスモデルストアアプリケーションをインストールまたは更新し、適切なクラスが既に存在するかどうかを確認する必要があります。

ServiceNowは、アップデートやクラスモデルパッケージを通じて新しいCIクラスを頻繁に提供しており、既存または計画中のクラスを重複して作成すると、断片化やガバナンスの問題につながる可能性があります。

オプションCも正しいです。新しいクラスが本当に必要な場合は、属性、動作、検出パターンを継承するために、適切な親クラスの下に追加する必要があります。IoTセンサーの場合、これはハードウェアまたはデバイス関連の親クラスの下に追加することで、一貫性を確保し、カスタマイズを最小限に抑えることができます。

オプションAは誤りであり危険です。使用されていないクラスを削除すると、依存関係や履歴データが破損する可能性があります。

オプションDも推奨されません。既存のクラスを変更して用途を変更することは、アップグレード時の安全性を確保するための設計原則に違反し、検出、統合、およびレポート作成に悪影響を与える可能性があります。

既存のモデルを最初に検証し、クラス階層を正しく拡張することで、組織はクリーンで拡張性が高く、アップグレードに安全なCMDBを維持できます。

したがって、正解はBとCです。

最新問題: 40

Apache Webサーバー識別ルールは、以下の基準属性で構成されます。

クラス

設定ファイル

バージョン

Identifier Entry
sys_class_name.config_file.version

* Identifier cmdb_ci_apache_web_server

* Search on table Apache Web Server

* Criterion attributes Class, Configuration file, Version

Priority 100

Optional condition Add Filter Condition Add *OR* Clause

-- choose field -- -- oper -- -- value --

昨日、サービスマッピングの一環として、Apache WebサーバーのCIが発見されました。
本日、アプリケーションの所有者はApacheを別のバージョンにアップグレードし、サービスの検出を再実行しました。
CMDBでは何が起こるのでしょうか？

- A. 既存のApache Web Server CIを調整し、バージョンを更新します。
- B. 新しいApache WebサーバーCIが作成されます。
- C. Apache Web Server CI は Web Server CI に再分類されます。
- D. 重複エラーが発生します。

Answer: ([解答を表示する](#))

このシナリオは、ServiceNowの識別および照合エンジン (IRE)が識別ルールをどのように評価するかに大きく左右されます。

Apache Web Serverクラスの識別ルールには、クラスと構成ファイルに加えて、バージョンが識別基準の一部として含まれています。受信レコードが既存のCIとして識別され、調整されるためには、識別ルールがすべての基準属性と完全に一致する必要があります。

昨日の検出では、特定のバージョン値を持つApache WebサーバーCIが作成されました。Apacheがアップグレードされ、検出が再実行されると、Version属性が変更されます。Versionは識別子の一部であるため、受信レコードは既存のCIの識別子エン트리と一致しなくなります。その結果、IREは既存のCIを同じ構成アイテムとして識別できなくなります。

識別に失敗し、一致する識別子エン트리が見つからない場合、IREは既存のCIレコードを更新するのではなく、新しいCIレコードを挿入します。この動作は意図的なものであり、識別基準を満たさなくなったレコードがCMDB内で誤って照合されるのを防ぎます。

選択肢Aは誤りです。なぜなら、照合は識別が成功した後にのみ行われるからです。

選択肢Cは、再分類は識別基準とは無関係であるため、誤りです。

選択肢Dは誤りです。これはエラー状態ではなく、IREの想定される動作です。

この例は、ベストプラクティス上の注意点を示しています。バージョンなどの揮発性属性は、アップグレード時に意図しないCIの重複を引き起こす可能性があるため、一般的に識別子属性として使用すべきではありません。

最新問題: 41

ドラッグアンドドロップ問題

従来のCMDBステータス属性からCSDMライフサイクルオブジェクトへの移行には、いくつかの手順を踏む必要があります。

オブジェクト／属性を適切な説明にドラッグ＆ドロップしてください。

life_cycle_stage_status

life_cycle_object

life_cycle_mapping

life_cycle_stage

Answer Area

This table is pre-populated with mappings for legacy status value based on its table, to the best-fit CSDM life-cycle value pair.

This is a record attribute that reflects a meta-level state of the rec life cycle.

This is a record attribute that reflects a sub-level state of the reco life cycle.

This table uses the type of CI (hardware, document, logical, etc.) determine which sub-level life cycle state values are available.

Answer:

Answer Area

life_cycle_mapping

life_cycle_object

life_cycle_stage

life_cycle_stage_status

This table is pre-populated with mappings for legacy status value based on its table, to the best-fit CSDM life-cycle value pair.

This is a record attribute that reflects a meta-level state of the rec life cycle.

This is a record attribute that reflects a sub-level state of the reco life cycle.

This table uses the type of CI (hardware, document, logical, etc.) determine which sub-level life cycle state values are available.

Explanation:

CSDMに準拠したライフサイクル管理への移行にあたり、ServiceNowは、高レベルの意図と詳細な運用状態を分離する構造化されたライフサイクルフレームワークを導入します。

ライフサイクルステージは、構成アイテムの存在におけるマクロフェーズを表します（例：計画構築、展開、運用、廃止）。

ライフサイクルステージステータスは、CIタイプによって異なる、より詳細なサブレベルの状態によってそのフェーズを細分化します。

ライフサイクルオブジェクトは、管理対象のCIの種類（ハードウェア、アプリケーション、ドキュメントなど）に基づいて、どのライフサイクルステージとステータスが適用されるかを決定します。

ライフサイクルマッピングは、既存の値を標準化されたCSDMライフサイクル値に変換することで、従来のステータスフィールドからの安全な移行を保証し、データ損失やプロセスの中断を回避します。

これらのオブジェクトを組み合わせることで、一貫性のあるライフサイクルガバナンスを実現し、レポートの精度を向上させ、ITSM、ITOM、IRMのユースケース全体にわたる自動化をサポートすると同時に、従来のCMDBデータとの下位互換性も維持します。

最新問題: 42

プラットフォーム内のサービスタイプの一覧が表示されたら、適切なサービスをその定義にドラッグしてください。

Application Service

Business Service

Technology Management Service (Technical Service)

Answer Area

Logical representation of a deploy system or application stack.

Published to Service Owners and underpins one or more business or application Services.

Published to Business Users and underpins one or more business capabilities.

Answer:

Application Service

Business Service

Technology Management Service (Technical Service)

Answer Area

Application Service

Logical representation of a deploy system or application stack.

Technology Management Service (Technical Service)

Published to Service Owners and underpins one or more business or application Services.

Business Service

Published to Business Users and underpins one or more business capabilities.

Explanation:

Definition	Correct Service Type
Logical representation of a deployed system or application stack	Application Service
Published to Service Owners and underpins one or more business or application services	Technology Management Service (Technical Service)
Published to Business Users and underpins one or more business capabilities	Business Service

共通サービスデータモデル (CSDM)では、サービスタイプが明確に定義され、ビジネスに直結する価値、アプリケーションロジック、および技術的な実現可能性が区別されています。適切な分類は、影響分析、所有権、レポート作成、およびサービスの可視性を確保する上で不可欠です。

アプリケーションサービスとは、デプロイされたアプリケーションまたはシステムスタックの論理的な表現です。サーバー、データベース、ミドルウェア、統合など、アプリケーションの実行方法をモデル化します。アプリケーションサービスは通常、サービスマッピングを通じて作成および管理され、主にIT運用チーム、DevOpsチーム、およびサポートチームによって利用されます。

テクノロジー管理サービス (テクニカルサービスとも呼ばれる)は、データベース、認証プラットフォーム、メッセージングシステム、クラウドインフラストラクチャなどの共有技術機能を表します。これらのサービスは、ビジネスユーザーではなくサービスオーナーに公開され、1つ以上のアプリケーションサービスまたはビジネスサービスの基盤となります。これらは技術的な依存関係とリスクを理解する上で不可欠ですが、ビジネスユーザーに直接提供されるものではありません。

ビジネスサービスは、ビジネスユーザー向けに公開され、ビジネスの機能と成果を直接的にサポートします。これは、「オンラインバンキング」、「注文処理」、「従業員オンボーディング」など、ビジネスが利用するサービスを表します。ビジネスサービスはCSDM階層の最上位に位置し、SLA、ユーザーエクスペリエンス、および価値測定の基準点となります。

これらのサービスタイプを正しく区別することで、CSDMのベストプラクティスとの整合性が確保され、正確な影響分析が可能になり、技術サービスをビジネスユーザーに公開したり、アプリケーションスタックをビジネス価値として誤って表現したりするなど、CMDBにおける一般的なアンチパターンを防ぐことができます。

最新問題: 43

CMDB管理者は、ServiceNow本番インスタンス内に2つの動的調整ルールを設定しました。Server」クラスには、RAMフィールドの最大値を指定する動的調整ルールが設定されています。Windows Server」クラスには、RAMフィールドの報告値が最も多い値を指定する動的調整ルールが設定されています。

Discovery Source	RAM (MB)
Tivoli	4,096
ServiceNow	4,096
LANDesk	2,048
Altiris	8,192

上記マルチソースCMDBのデータに基づき、サーバーCIのRAMに対してCMDBに追加される値はどれですか？

- A. 2,048 MB
- B. 8,192 MB
- C. 4,096 MB

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

この質問は、CMDB 360 / ServiceNow 内のマルチソース CMDB におけるクラス固有の動的調整ルールを理解することにかかっています。

2つの異なる動的ルールが設定されている場合でも、適用されるルールは評価対象のCIクラスによって異なります。

Serverクラスの場合、設定されているルールはRAM属性の最大値です。

Windows Server クラスの場合、最も多く報告されたルールが適用されますが、これは CI が Windows Server として評価された場合に限りです。

この質問では、Windows Server CIではなく、Server CIのRAM値を求めています。したがって、最大値ルールが結果を決定します。

複数の情報源から得られた値を見てみましょう。

2,048 MB (LANDesk)

4,096 MB (ティボリ)

4,096 MB (ServiceNow)

8,192 MB (取得済み)

最大値」動的調整ルールでは、IREは、報告頻度や情報源に関係なく、最大の数値を選択します。

TheMost reportedlogic（結果として4,096 MBになる）は、このルールが別のクラス Windows Server）用に構成されているため、ここでは適用されません。

このシナリオは、CMDB 360 の重要な原則を示しています。動的な調整はクラスごとに評価され、構成アイテムが実際にその子クラスに分類されていない限り、子クラスのルールは親クラスのルールを上書きしません。

最新問題: 44

CMDBヘルスダッシュボードのメトリックを説明欄にドラッグアンドドロップしてください。

Audit

Duplicate

Orphan

Recommended

Required

Stale

Answer Area

CMDB records that represent the same physical or logical asset multiple times

Fields necessary to create or update a CI record in the CMDB

CMDB records that no longer maintain their logical or physical relationships with other CIs

CMDB records that are no longer actively updated, but remain stored in the database

Fields that support the accuracy, completeness, and usability of CI records in the CMDB

Actual values of specified fields are compared to the expected values defined in a template

Answer:

Audit
Duplicate
Orphan
Recommended
Required
Stale

Answer Area

Duplicate
Required
Orphan
Stale
Recommended
Audit

CMDB records that represent the same physical or logical asset multiple times

Fields necessary to create or update a CI record in the CMDB

CMDB records that no longer maintain their logical or physical relationships with other CIs

CMDB records that are no longer actively updated, but remain stored in the database

Fields that support the accuracy, completeness, and usability of CI records in the CMDB

Actual values of specified fields are compared to the advertised values defined in a template

Explanation:

CMDB records that represent the same physical or logical asset multiple times	Duplicate
Fields necessary to create or update a CI record in the CMDB	Required
CMDB records that no longer maintain their logical or physical relationships with other CIs	Orphan
CMDB records that are no longer actively updated, but remain stored in the database	Stale
Fields that support the accuracy, completeness, and usability of CI records in the CMDB	Recommended
Actual values of specified fields are compared to the expected values defined in a template	Audit

- * 重複は、同じ資産が複数回モデル化され、CMDBの信頼原則に違反しているデータ品質の問題を特定します。
 - * 必須項目。最小限の実行可能なCIの作成と更新を保証します。これは、取り込みとライフサイクルの整合性にとって重要です。
 - * Orphanは、影響分析、サービスマッピング、および変更管理に直接影響を与える、壊れた関係性を明らかにします。
 - * Staleフラグは、Discoveryやその他のソースによって更新されなくなったものの、CMDBにまだ存在するCI（構成アイテム）を示します。
 - * 推奨事項は、必須ではありませんが、完全性と使いやすさを向上させ、運用および報告のユースケースをサポートします。
 - * 監査では、CIフィールドの値を事前定義されたテンプレートまたはポリシーと比較することにより、データの正確性を検証します。
- ServiceNowは、CMDBヘルスダッシュボード関連の試験問題や実際の導入において、このような正確なマッピングを期待しています。

最新問題: 45

CMDB管理者グループは、最新のパッチが適用されていないサーバーレコードについて、CMDBヘルスダッシュボードのコンプライアンススコアカードに有意義な結果を表示することを目指しています。この目標を達成するためには、どのような設定が必要でしょうか？

- A. 認証フィルター、認証テンプレート、監査
- B. 技術サービス提供、動的CIグループ、CMDBグループ
- C. 古い、孤立した、重複した
- D. 認証ポリシー、データフィルタ、スケジュール済みジョブ

Answer: D ([メッセージを残す](#))

ServiceNowでは、CMDBヘルスダッシュボードのコンプライアンス機能はデータ認証によって実現されています。最新のパッチが適用されていないサーバーを特定するなど、意味のあるコンプライアンス結果を表示するには、認証ポリシー、データフィルタ、およびスケジュールされたジョブを組み合わせる必要があります。

認証ポリシーでは、検証が必要なデータと、コンプライアンスチェックの対象となる属性（パッチレベル、OSバージョン、最終更新日など）を定義します。データフィルタは、対象範囲（サーバークラスのみなど）を絞り込むことで、コンプライアンス評価が適切な構成アイテム（CI）のみを対象とするようにします。スケジュールされたジョブは、認証の実行を自動化し、コンプライアンススコアを最新の状態に保ちます。

最新問題: 46

インシデントプロセスオーナーは、インシデントフォームでどのCSDMクラスが使用されているかを尋ねています。どのクラスが適切でしょうか？

- A. アプリケーションサービス
- B. ビジネスアプリケーション
- C. サービス内容
- D. サービスポートフォリオ

Answer: A,C ([メッセージを残す](#))

共通サービスデータモデル (CSDM)では、インシデントフォームは、運用上の影響を把握し、効果的なインシデントのルーティング、優先順位付け、およびコミュニケーションを可能にするように設計されています。これを実現するために、CSDMでは、サービスの計画や管理方法ではなく、サービスの提供方法と利用方法を表すクラスを使用することを規定しています。

アプリケーションサービス オプションA)は、本番環境で稼働しており、インシデント発生時に直接影響を受ける技術サービスを表すため、インシデントフォームにおいて適切なクラスです。アプリケーションサービスはサービスマッピングされており、基盤となるインフラストラクチャに関連付けられ、影響分析、根本原因調査、および自動割り当てをサポートします。そのため、技術的な障害や劣化を伴うインシデントに関連付けるのに最適です。

サービス提供 オプションC)も適切な選択肢です。なぜなら、これはユーザーや事業部門によるサービスの利用方法を表すからです。サービス提供により、インシデント管理部門は影響を受けるユーザーを把握し、対象を絞ったコミュニケーションを可能にし、SLA/OLAの整合性を確保できます。例えば、特定の部署向けのメールサービス提供は、影響を受ける顧客グループを明確に特定します。

インシデントフォームでは、ビジネスアプリケーション オプションB)の使用は推奨されません。ビジネスアプリケーションは、ポートフォリオ、所有権、ガバナンスの目的で使用される論理的な表現であり、日常的なインシデント処理に使用されるものではありません。インシデントに直接使用すると、精度と自動化が低下する可能性があります。

サービスポートフォリオ オプションD)は、サービスライフサイクル管理に使用される戦略的な構成要素であり、運用上のインシデントとは一切関連付けられていません。

したがって、CSDMのベストプラクティスによれば、インシデントフォームで使用される正しいクラスはアプリケーションサービスとサービスオフERINGであり、オプションAとCが正解となります。

有効な **CIS-DF** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CIS-DF 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CIS-DF** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CIS-DF 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CIS-DF 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/ServiceNow/CIS-DF-mondaishu.html> (**20530%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 47

CMDB管理者が、統合マップとサービスマッピングマップを比較している。

統合マップのその他の機能は何ですか？ 2つ選択してください)

- A. マップに表示されるレベル数は変更可能です
- B. 地図の拡大 縮小が可能です
- C. マップノードはユーザーの好みに基づいてフィルタリングできます
- D. アプリケーションおよびそれがインストールされているホストに対する可視性

Answer: B,C ([メッセージを残す](#))

統合マップは、検出、サービスマッピング、手動による関係など、複数のソースからの構成アイテム (CI)の関係性を単一のインタラクティブなビューに統合することで、CMDB全体にわたる視覚的な洞察と分析を強化するように設計されています。従来のサービスマッピングマップは、アプリケーションとインフラストラクチャ間の依存関係のモデリングと理解に最適化されていますが、統合マップは、より柔軟な視覚化機能と探索機能によって、この機能を拡張します。

選択肢Bが正解です。統合マップでは、ユーザーがズームイン・ズームアウトできるため、複雑な構成アイテム (CI)間の関係性を俯瞰的に把握できるだけでなく、詳細な検査も可能です。この機能は、サービスが数百、数千ものインフラストラクチャコンポーネントにまたがる大規模な企業環境において特に有効です。

ズーム機能は、ユーザーに不要な詳細情報で負担をかけることなく、影響分析、トラブルシューティング、およびアーキテクチャレビューをサポートします。

オプションCも正解です。なぜなら、統合マップはユーザー設定に基づいてマップノードをフィルタリングする機能をサポートしているからです。管理者やアナリストは、CIクラス、関係タイプ、ライフサイクル状態、その他の属性でフィルタリングできるため、本番環境のCI、セキュリティ関連コンポーネント、特定のテクノロジースタックなど、タスクに最も関連性の高い情報に集中できます。これは、基盤となるデータを変更することなく使いやすさと意思決定を向上させることで、データ基盤の原則に強く合致しています。オプションAは、表示されるレベル数を変更する機能は統合マップの追加機能というよりも、サービスマッピングの設定により密接に関連する特性であるため、誤りです。オプションDは、アプリケーションとそのホストの可視性は統合マップ固有の機能強化ではなく、サービスマッピングの中核機能であるため、誤りです。要約すると、統合マップはCMDB全体におけるインタラクティブ性、柔軟性、およびユーザー主導の洞察力を向上させることで、付加価値をもたらします。

最新問題: 48

2つ選択してください

構成管理には、CMDBに反映されるデバイスの正確なインベントリが必要です。Agent Client Collector (ACC) の一般的な使用例にはどのようなものがありますか？

- A. データセンター内のサーバー
- B. DMZ内のネットワーク機器
- C. 安全な環境にあるデバイス
- D. 断続的にネットワークに接続するデバイス

Answer: (解答を表示する)

ServiceNowのエージェントクライアントコレクター (ACC)は、従来の検出方法では安定してアクセスできないエンドポイントからインベントリデータを収集するように設計されています。ACCは、認証情報に基づくネットワークベースの検出が非現実的または不可能な場合に特に有効です。隔離されたネットワーク、制限区域、または厳しく規制された環境など、セキュリティが確保された環境 (オプションC)にあるデバイスは、多くの場合、受信側の検出トラフィックをブロックします。ACCはデバイス上でローカルに実行され、インベントリデータを安全に外部に送信するため、このようなシナリオに最適です。ラップトップ、リモートエンドポイント、ローミングデバイスなど、ネットワークに断続的に接続するデバイス (オプションD)も、重要なユースケースの一つです。従来の検出方法では、スケジュールされたスキャン中にデバイスにアクセス可能である必要がありますが、モバイル機器やネットワークに接続されていない機器では信頼性が低くなります。ACCは、デバイスがオンラインである限り、インベントリデータが確実に収集されるようにします。オプションA (データセンターサーバー)は、より詳細なインフラストラクチャおよび関係性データを提供するエージェントレス検出の方が適しています。オプションB (DMZ内のネットワークデバイス)は、通常、ACCではなくSNMPとネットワーク検出を使用して検出されます。ACCは、階層的なデータ取り込み戦略の一環としてDiscoveryを補完し、多様な環境全体で正確なインベントリカバレッジを保証します。したがって、正解はC - 安全な環境にあるデバイス、およびD - ネットワークに断続的に接続するデバイスです。

最新問題: 49

CMDB管理者は、経営陣へのプレゼンテーションに必要な情報を収集するよう指示されました。管理者は、重複CI、孤立CI、および古いCIのメトリックを提供する必要があります。CMDBヘルスダッシュボードでこの情報を提供するスコアカードはどれですか？

- A. 正確性
- B. コンプライアンス
- C. 完全性

Answer: (解答を表示する)

データ基盤における「インサイト」とは、健全性指標を用いてCMDBの信頼性と運用上の使いやすさを評価することです。CMDB健全性ダッシュボードは、健全性をスコアカードに整理し、関連するチェック項目をグループ化します。経営陣が重複CI、孤立CI、古いCIについて質問する場合、単にフィールドが入力されているかどうかではなく、CMDBの継続的な健全性とガバナンス要件への準拠について尋ねています。これら3つの指標は、構成アイテムレコードがCMDBを長期にわたってクリーンかつ最新の状態に保つためのルールに準拠しているかどうかを示すため、コンプライアンスと最もよく合致しています。

- * 重複するCIは、識別およびガバナンス制御が、同一の実世界のアイテムに対して複数のレコードが作成されるのを一貫して防止していないことを示しています。
 - * 孤立したCIは、関係ガバナンスのギャップを示します。レコードは想定される関係やコンテキストなしに存在し、運用上の価値を低下させ、多くの場合、不完全な取り込みまたはライフサイクル制御の問題を示しています。
 - * 古い構成アイテムはライフサイクル管理のギャップを示しています。レコードが適切に更新、認証、廃止、またはアーカイブされていないため、運用プロセスにおけるリスクとノイズが増加します。
- 対照的に、完全性とは、必須属性（所有者サポートグループ、環境など）が入力されているかどうかにより焦点を当てます。正確性とは、値と関係が正確で論理的に妥当であるかどうかにより焦点を当てます。
- 重複データ、孤立データ、古いデータは間接的に正確性に影響を与える可能性があります、これらの衛生管理およびライフサイクル指向の対策に関するダッシュボードのグループ化はコンプライアンスによって最もよく表されるため、Bが正解です。

最新問題: 50

ACMDB 管理者は、重複する CI の対処と修復を防止するために使用できるツールを理解しようとしています。各機能に対応する結果とドラッグ アンド ドロップします。一部のオプションは適用されない場合があります。

Certification Tasks

CMDB Health Dashboard Correctness Sco

De-Duplication Tasks

De-Duplication Templates

Duplicate CI Remediator

Answer Area

Can be assigned to groups for resolving duplicate CIs

Offers insight into duplicate CIs within the CMDB

Offers a solution to resolve de-duplication tasks in bulk

Provides a wizard to resolve de-duplication tasks individually

Answer:

Certification Tasks

CMDB Health Dashboard Correctness Sco

De-Duplication Tasks

De-Duplication Templates

Duplicate CI Remediator

Answer Area

Certification Tasks

CMDB Health Dashboard Correctness Sco

De-Duplication Templates

Duplicate CI Remediator

Can be assigned to groups for resolving duplicate CIs

Offers insight into duplicate CIs within the CMDB

Offers a solution to resolve de-duplication tasks in bulk

Provides a wizard to resolve de-duplication tasks individually

Explanation:

Feature	Corresponding Outcome
Certification Tasks	Can be assigned to groups for resolving duplicate CIs
CMDB Health Dashboard – Correctness Scorecard	Offers insight into duplicate CIs within the CMDB
De-duplication Templates	Offers a solution to resolve de-duplication tasks in bulk
Duplicate CI Remediator	Provides a wizard to resolve de-duplication tasks individually

InServiceNowでは、重複CI管理は検出、分析、および修復に及びます。

CMDB ヘルス ダッシュボード - 正確性は、重複が存在する場所とその影響を明らかにし、可視性と優先順位付けを提供します。
認証タスクは、統制された解決をサポートし、データの検証と修正を個人またはグループに割り当てることを可能にします。
重複排除テンプレートは一括修復を可能にし、標準化されたマージルールを多数の重複データに適用できる場合に最適です。
Duplicate CI Remediatorは、レコードごとにガイド付きのウィザードを提供し、関係性と履歴を保持することで、より安全な個別の解決策を実現します。
重複排除タスクは、これらのプロセスによって生成される作業項目ですが、それ自体は成果を表すものではないため、適用されません。
このマッピングはCMDBデータ基盤のベストプラクティスに準拠しており、重複データが効率的かつ安全に特定、優先順位付け、および修正されることを保証します。

最新問題: 51

ハードウェアCIクラスの識別ルールが以下のように定義されています。

Hardware Rule:	Criterion attributes	Priority
Identifier Entries Table		
Serial Number	serial_number, serial_number_type	100
Hardware	serial_number	200
Hardware	name	300
Network Adapter	mac_address, name	400

- CMDBのHardwareクラスに、2つの新しいCIレコードがインポートされます。
- CI1: このCIレコードの名前は、CMDBに存在する既存のCIレコードの名前と一致します。
- CI2: このCIレコードのIPアドレスは、CMDB内の既存のCIレコードのIPアドレスと一致します。
- 識別ルールとインポートされたCIレコードに基づくと、どちらが正しいですか？
- A. CI1は新規レコードとして挿入され、CI2は一致するレコードで更新されます。
 - B. CI1とCI2は両方とも新規レコードとして挿入されます
 - C. CI1は一致するレコードで更新され、CI2は新しいレコードとして挿入されます。
 - D. CI1とCI2の両方に一致するレコードが更新されます

Answer: B (メッセージを残す)

この質問は、ServiceNow において、識別および調整エンジン (IRE) が受信した CI データを識別ルールとその優先順位に基づいてどのように評価するかについての理解度を測るものです。

示されている識別ルールから：

シリアル番号 (タイプ)# 優先度 100

シリアル番号# 優先度200

名前 (ハードウェア)# 優先度 300

MACアドレス+名前 ネットワークアダプタ)#優先度400

CIが識別され、照合されるためには、受信レコードがそのクラスに対して定義されているとおり、完全な識別子エントリを1つ満たす必要があります。

CI1 (名前のみ一致)

名前は既存のハードウェアCIと一致しますが、名前だけでは優先度の低い識別子 (300) であり、優先度の高い識別子が存在せず、かつ識別子の入力条件が完全に満たされている場合を除き、ハードウェアCIを一意に識別するには不十分です。実際には、ハードウェア識別は誤検出を避けるため、名前のみ的一致ではなく、シリアル番号に基づく識別子に依存しています。したがって、CI1は確実に一致しないため、新規レコードとして挿入されます。

CI2 IPアドレスの一致)

IPアドレスは、表示されているハードウェア識別ルールには含まれていません。IPアドレスは通常、検出時の相関関係やネットワーク関係の特定に使用され、主要なハードウェア識別子としては使用されません。識別子エントリにIPアドレスが含まれていないため、CI2は有効な識別ルールに一致せず、新規レコードとして挿入されます。どちらのCIも有効な識別子エントリを満たしていないため、両方のレコードは新しいCIとして挿入されます。

最新問題: 52

2つ選択してください

どのServiceNowソリューションが自動的にリレーションシップを作成しますか？

A. IntegrationHub ETL

B. サービスマッピング

C. 発見

D. ワークフロースタジオ

Answer: (解答を表示する)

自動的な関係作成は、サービスを認識し、信頼性の高いCMDBを維持するために不可欠です。

ServiceNowでは、この機能は主にDiscoveryおよびService Mappingによって提供されます。

検出 オプション C)は、サーバー、ネットワーク デバイス、ストレージなどのインフラストラクチャ コンポーネントを自動的に識別し、それらの間の技術的な関係を作成します たとえば、実行中」、接続されている」、または

トに依存する」。これらの関係は、インフラストラクチャの依存関係マッピングの根幹を成す。

サービスマッピング オプションB)は、ディスカバリ機能をベースに、アプリケーションレベルおよびサービスレベルの関係性を構築します。アプリケーションコンポーネントがサーバー、データベース、ミドルウェア間でどのように相互作用するかをマッピングすることで、CSDMIに準拠した正確なアプリケーションサービスモデルを作成します。これらの関係性は、環境の変化に応じて自動的に作成および維持されます。

オプションA (IntegrationHub ETL)はデータの取り込みと変換に重点を置いており、明示的にスクリプト化されない限り、本来的に関係性を作成または維持することはありません。オプションD (Workflow Studio)はプロセスと自動化をオーケストレーションしますが、CIの関係性を検出または推論することはありません。

したがって、自動的な関係を作成するServiceNowソリューションはService MappingとDiscoveryであり、選択肢BとCが正解となります。

最新問題: 53

CMDBヘルスダッシュボードのメトリックを適切な説明にドラッグアンドドロップしてください。

serviceNow

	Answer Area	
Audits		Use these to compare actual values with expected values
Duplicate CIs		Use of these should be minimized
Orphan CIs		Certain attribute values are not set, or relationships are missing
Recommended fields		Preferable for them to be populated, as they could be useful in troubleshooting issues
Required fields		Have not been updated and may be outdated
Stale CIs		Detected during identification and reconciliation and have associated base system remediation tools

Answer:

serviceNow

	Answer Area	
Audits	Audits	Use these to compare actual values with expected values
Duplicate CIs	Duplicate CIs	Use of these should be minimized
Orphan CIs	Orphan CIs	Certain attribute values are not set, or relationships are missing
Recommended fields	Recommended fields	Preferable for them to be populated, as they could be useful in troubleshooting issues
Required fields	Stale CIs	Have not been updated and may be outdated
Stale CIs	Required fields	Detected during identification and reconciliation and have associated base system remediation tools

Explanation:

CMDB Health Metric	Description
Audits	Use these to compare actual values with expected values
Duplicate CIs	Use of these should be minimized
Orphan CIs	Certain attribute values are not set, or relationships are missing
Recommended fields	Preferable for them to be populated, as they could be useful in troubleshooting issues
Required fields	Detected during identification and reconciliation and have associated base system remediation tools
Stale CIs	Have not been updated and may be outdated

CMDBヘルスダッシュボードは、データ品質を実用的で行動指向の指標に整理します。

監査では、CI値を定義された期待値（ルール、ポリシー、認証）と比較することにより、正確性を検証します。

重複するCIは冗長な記録を表しており、信頼性と報告の正確性を向上させるために削減する必要があります。

孤立したCIslackは、必要な関係性や重要なコンテキストを欠いており、影響分析やサービスの可視性を制限している。

推奨項目は必須ではありませんが、インシデントや問題調査の際に診断上の価値を高めます。

必須項目はプラットフォームによって強制され、本人確認および照合の是正措置と密接に関連しています。

古いCIssignalデータは、現在の環境を反映しなくなった古いデータです。

このマッピングは、CMDBデータ基盤のベストプラクティスと、ヘルスダッシュボードが優先順位付けと修復をガイドするように設計されている方法に合致しています。

最新問題: 54

プラットフォーム内のサービスタイプの一覧が表示されたら、適切なサービスをその定義にドラッグしてください。

Application Service

Business Service

Technology Management Service (Technical Service)

Answer Area

Logical representation of a deploy system or application stack.

Published to Service Owners and underpins one or more business or application Services.

Published to Business Users and underpins one or more business capabilities.

Answer:

Application Service

Business Service

Technology Management Service (Technical Service)

Answer Area

Application Service

Logical representation of a deploy system or application stack.

Technology Management Service (Technical Service)

Published to Service Owners and underpins one or more business or application Services.

Business Service

Published to Business Users and underpins one or more business capabilities.

Explanation:

Definition	Correct Service Type
Logical representation of a deployed system or application stack	Application Service
Published to Service Owners and underpins one or more business or application services	Technology Management Service (Technical Service)
Published to Business Users and underpins one or more business capabilities	Business Service

共通サービスデータモデル（CSDM）では、サービスタイプが明確に定義され、ビジネスに直結する価値、アプリケーションロジック、および技術的な実現可能性が区別されています。適切な分類は、影響分析、所有権、レポート作成、およびサービスの可視性を確保する上で不可欠です。

アプリケーションサービスとは、デプロイされたアプリケーションまたはシステムスタックの論理的な表現です。サーバー、データベース、ミドルウェア、統合など、アプリケーションの実行方法をモデル化します。アプリケーションサービスは通常、サービスマッピングを通じて作成および管理され、主にIT運用チーム、DevOpsチーム、およびサポートチームによって利用されます。

テクノロジー管理サービス（テクニカルサービスとも呼ばれる）は、データベース、認証プラットフォーム、メッセージングシステム、クラウドインフラストラクチャなどの共有技術機能を表します。これらのサービスは、ビジネスユーザーではなくサービスオーナーに公開され、1つ以上のアプリケーションサービスまたはビジネスサービスの基盤となります。これらは技術的な依存関係とリスクを理解する上で不可欠ですが、ビジネスユーザーに直接提供されるものではありません。

ビジネスサービスはビジネスユーザーに公開され、ビジネス機能と成果を直接サポートします。これは、「オンラインバンキング」、「注文処理」など、ビジネスが消費するものを表します。

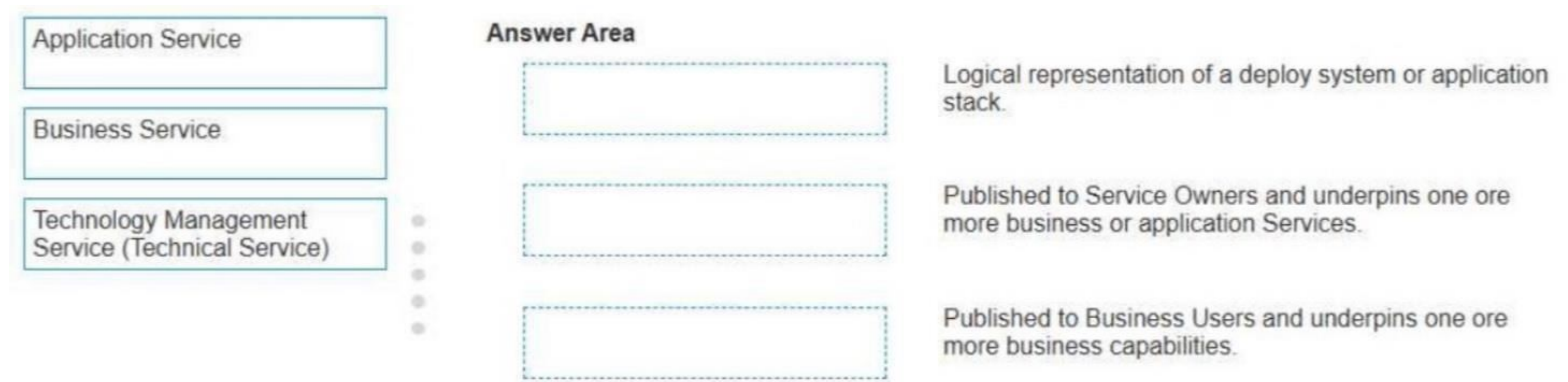
従業員のオンボーディング」。ビジネスサービスはCSDM階層の最上位に位置し、SLA、エクスペリエンス、および価値測定のアンカーポイントとなります。

これらのサービスタイプを正しく区別することで、CSDMのベストプラクティスとの整合性が確保され、正確な影響分析が可能になり、技術サービスをビジネスユーザーに公開したり、アプリケーションスタックをビジネス価値として誤って表現したりするなど、CMDBにおける一般的なアンチパターンを防ぐことができます。

最新問題: 55

ドラッグアンドドロップ問題

プラットフォーム内のサービスタイプの一覧が表示されたら、適切なサービスをその定義にドラッグしてください。



Answer:



Explanation:

共通サービスデータモデル (CSDM) では、サービスタイプが明確に定義され、ビジネス上の価値、アプリケーションロジック、および技術的な実現可能性が区別されています。適切な分類は、影響分析、所有権、レポート作成、およびサービスの可視性を確保する上で不可欠です。

アプリケーションサービスとは、デプロイされたアプリケーションまたはシステムスタックの論理的な表現です。サーバー、データベース、ミドルウェア、統合など、アプリケーションの実行方法をモデル化します。

アプリケーションサービスは通常、サービスマッピングを通じて作成および維持され、主にIT運用チーム、DevOpsチーム、およびサポートチームによって利用されます。

テクノロジー管理サービス（テクニカルサービスとも呼ばれる）は、データベース、認証プラットフォーム、メッセージングシステム、クラウドインフラストラクチャなどの共有技術機能を表します。これらのサービスは、ビジネスユーザーではなくサービスオーナーに公開され、1つ以上のアプリケーションサービスまたはビジネスサービスの基盤となります。これらは技術的な依存関係とリスクを理解する上で不可欠ですが、ビジネスユーザーに直接提供されるものではありません。

ビジネスサービスは、ビジネスユーザー向けに公開され、ビジネスの機能と成果を直接的にサポートします。これは、「オンラインバンキング」、「注文処理」、「従業員オンボーディング」など、ビジネスが利用するサービスを表します。ビジネスサービスはCSDM階層の最上位に位置し、SLA、ユーザーエクスペリエンス、および価値測定の基準点となります。

これらのサービスタイプを正しく区別することで、CSDMのベストプラクティスとの整合性が確保され、正確な影響分析が可能になり、技術サービスをビジネスユーザーに公開したり、アプリケーションスタックをビジネス価値として誤って表現したりするなど、CMDBにおける一般的なアンチパターンを防ぐことができます。

最新問題: 56

CMDB管理者がサービスグラフコネクタをインストールし、スクリプト変換をカスタマイズしました。スクリプト変換のデフォルト定義が更新された場合、その後のアップグレードで何が起こりますか？

- A. アップグレードが停止し、エラーが報告されます
- B. スキップされた変更が作成され、スクリプト変換定義に変更は加えられません。
- C. サービスグラフコネクタのアップグレードが開始されません

Answer: B ([メッセージを残す](#))

ServiceNowでは、サービスグラフコネクタが、スクリプト変換などの保護されたアップグレード対応のアーティファクトを使用してデータ取り込みパターンを提供します。顧客がサービスグラフコネクタによって提供されるスクリプト変換をカスタマイズする場合、ServiceNowは標準の更新セットとアップグレード動作に従って、顧客のカスタマイズを保護します。

その後のアップグレード時に、既定のスクリプト変換定義が変更された場合、ServiceNow はカスタマイズされたバージョンを上書きしません。代わりに、プラットフォームは変更がスキップされたことを記録します。これは、更新が利用可能であったものの、ローカルなカスタマイズのために意図的に適用されなかったことを示します。これにより、新しいリリースで何が変更されたかについての透明性を維持しながら、顧客固有のロジックが確実に保持されます。

オプションAは、カスタマイズされた変換によってアップグレードが停止することはないという点で誤りです。オプションCも、Service Graph Connectorのアップグレードは正常に進行し、カスタマイズによって開始が拒否されることはないという点で誤りです。

この動作は、データ基盤のベストプラクティスに合致しています。可能な限り標準コンテンツの変更は避けるべきですが、カスタマイズが必要な場合は、アップグレード中に保護されるようにする必要があります。管理者は、アップグレード後にスキップされた変更を確認し、新しい標準ロジックを手動で採用するかどうかを決定する必要があります。

したがって、正解はBです。スキップされた変更が作成され、スクリプト変換定義には変更が加えられません。

最新問題: 57

構成管理者がCMDBの実装を計画している。規定されているCSDMの導入順序はどれですか？

- A. 初期、開発中、定義済み、管理済み
- B. アーキテクチャ、ビジネス、技術、ガバナンス
- C. 開始、計画、実行、納品、完了
- D. 這う、歩く、走る、飛ぶ

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

共通サービスデータモデル（CSDM）は、リスクを軽減し、持続的な導入を確実にするために、段階的かつ成熟度に基づいた展開アプローチを規定しています。推奨される順序は「這う」「歩く」「走る」「飛ぶ」であり、実装の取り組みを組織の能力向上と価値実現の進展に合わせて進めていきます。

Crawlは、基本的なデータ衛生管理に重点を置いています。具体的には、コアとなるCIクラス、識別ルール、調整、基本的なディスカバリの取り込み、およびCMDBヘルスの基本です。

Walkは、ビジネスサービス、アプリケーションサービス、およびインシデントと変更の影響分析を可能にする関係性を含むサービスコンテキストを紹介します。

Runは、サービスマッピング、サービス提供、高度なガバナンス、プロセス自動化により、業務効率の向上を実現します。

Flyは、分析、AI/ML、プロアクティブな運用、およびドメイン横断的な統合（例SecOps、APM、CSM）を活用することで、最適化と拡張性を実現します。

この手順により、データ品質とガバナンスが確立される前に、チームが初期段階で過剰なモデリングを行ったり、複雑さを導入したりすることを防ぎます。その他の選択肢は、一般的なプロジェクトライフサイクルや組織分類を説明するものであり、CSDMが推奨する導入経路ではありません。

したがって、正解はD - 這う、歩く、走る、飛ぶです。

最新問題: 58

構成管理者は、CMDBデータ基盤ダッシュボードを利用するための正当性を示す資料を準備中です。

このダッシュボードの利用によって得られるメリットはどれですか？ 2つ選択してください)

- A. 変更管理の承認プロセスを自動化します
- B. データ品質と完全性を向上させるための実用的な洞察を提供します
- C. CMDB内の重複レコードを検出して削除するのに役立ちます
- D. CMDBの状態を長期的に監視・追跡できます。

Answer: (解答を表示する)

CMDBデータ基盤ダッシュボードは、CMDBデータの全体的な健全性に関する可視性、洞察、およびガイダンスを提供するように設計されています。その目的はITSMワークフローを自動化することではなく、情報に基づいた意思決定と構成データの継続的な改善を可能にすることです。

その主な利点の1つは、データ品質と完全性を向上させるための実用的な洞察を提供することです (オプションB)。ダッシュボードは、CI属性のギャップ、欠落している関係、およびコンプライアンスの問題を強調表示し、CMDB管理者とデータ所有者がGet Well Playbooksを使用して問題を絞った是正措置を講じることを可能にします。

もう一つの重要な利点は、組織がCMDBの状態を長期にわたって監視・追跡できることです (オプションD)。ダッシュボードには、完全性、正確性、コンプライアンスといった状態に関する様々な側面における傾向が表示され、チームは進捗状況を測定し、投資を正当化し、CSDM導入段階に合わせた成熟度の向上を実証することができます。

最新問題: 59

2つ選択してください)

CMDB管理者は、CMDBデータ基盤ダッシュボードに表示されている問題を解決するために、 「サービスに所有者が特定されている」というGet Wellプレイブックを実行したいと考えています。

どの修復策が用いられるのか？

- A. データ分析
- B. レポートデータ
- C. データの修正
- D. データの管理

Answer: C,D (メッセージを残す)

CMDBデータ基盤ダッシュボードは、管理者が構造化された修復手順を理解できるようガイドするGet Wellプレイブックと連携しています。 「サービスに所有者が特定されている」プレイブックは、サービスの所有権のギャップを解消することに重点を置いており、これはガバナンスとデータ修正活動です。

データの修正 (オプションA)は、所有者フィールドへの入力、担当グループの割り当て、関係性の更新など、欠落または誤った値を修正するために使用されます。このプレイブックでは、サービスの所有者を割り当てることで問題を実際に解決するために、データの修正アクションが必要です。

データ管理 (オプションD)も必須です。なぜなら、所有権は一度限りの修正ではなく、継続的に強制され、維持されなければならないからです。データ管理は、ポリシー、所有権の責任、および管理策（認証や証明など）を確立することで、サービスが長期にわたって所有者を持ち続け、後退しないようにします。

データ分析 (オプションB)は、パターンや根本原因を理解するために使用されますが、問題を解決するものではありません。

レポートデータ (オプションC)は、可視性とコミュニケーションを提供するものであり、是正措置を提供するものではありません。

したがって、 「Services Have Owners Identified」プレイブックに適用される修復プレイは 「Fix Data」と 「Govern Data」であり、オプションAとDが正解となります。

最新問題: 60

インシデントプロセスオーナーは、インシデントフォームでどのCSDMクラスが使用されているかを尋ねています。どのクラスが適切でしょうか？

- A. アプリケーションサービス
- B. ビジネスアプリケーション
- C. サービス内容
- D. サービスポートフォリオ

Answer: A,C ([メッセージを残す](#))

共通サービスデータモデル (CSDM)では、インシデントフォームは、運用上の影響を把握し、効果的なインシデントのルーティング、優先順位付け、およびコミュニケーションを可能にするように設計されています。これを実現するために、CSDMでは、サービスの計画や管理方法ではなく、サービスの提供方法と利用方法を表すクラスを使用することを規定しています。

アプリケーションサービス オプションA)は、本番環境で稼働しており、インシデント発生時に直接影響を受ける技術サービスを表すため、インシデントフォームにおいて適切なクラスです。

アプリケーションサービスは、サービスマッピングに基づいており、基盤となるインフラストラクチャと関連付けられ、影響分析、根本原因調査、および自動割り当てをサポートします。そのため、インシデントを技術的な障害や劣化と関連付けるのに最適です。

サービス提供 オプションC)も適切な選択肢です。なぜなら、これはユーザーや事業部門によるサービスの利用方法を表すからです。サービス提供によって、インシデント管理部門は影響を受けるユーザーを把握し、対象を絞ったコミュニケーションを可能にし、SLA/OLAの整合性を確保できます。例えば、特定の部署向けのメールサービス提供であれば、影響を受ける顧客グループを明確に特定できます。

最新問題: 61

構成アイテム (CI)を管理する際に、データ認証ポリシーと証明ポリシーの違いは何ですか？

- A. 認証ではCIの特定の属性を修正する必要がありますが、データ認証ではCIがまだ存在することを確認する必要があります。
- B. 証明書の発行はスケジュールできますが、データ認証はスケジュールできません。
- C. 証明書はグループまたは個人に割り当てることができますが、データ認証は個人にのみ割り当てることができます。
- D. アテステーションはCIがまだ存在することを確認するものであり、データ認証はCIの特定の属性を検証する必要がある。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

ServiceNow CMDBガバナンスにおいて、アテステーションとデータ認証は、それぞれ異なるものの相互補完的な目的を果たします。主な違いは、検証対象にあります。

認証は、存在と所有権の確認に重点を置いています。構成アイテム (CI)が認証されると、割り当てられたユーザーまたはグループは、CIがまだ存在し、関連性があり、適切なチームによって所有または管理されていることを確認するよう求められます。詳細な属性レベルの検証は必要ありません。この軽量なプロセスは、CMDBに「ホーストCI」が残存するのを防ぐためによく使用されます。

一方、データ認証はより厳格です。認証者は、ライフサイクルステータス、サポートグループ、環境、サービス関係など、構成アイテム (CI)の特定の属性を検証する必要があります。認証によってデータの正確性と完全性が保証され、これはCMDBの健全性スコアや、変更管理やインシデント管理といった下流プロセスに直接影響を与えます。

選択肢A、B、Cは、これらのメカニズム、あるいはそれらの割り当ておよびスケジューリング機能について誤って説明しています。

証明と認証はどちらも柔軟にスケジュール設定や割り当てが可能です、両者を真に区別するのは検証の深さです。

したがって、選択肢Dは両者の違いを正しく説明しています。証明は存在を確認するものであり、データ認証はCI属性を検証するものです。

有効な **CIS-DF** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CIS-DF 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CIS-DF** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CIS-DF 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CIS-DF 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/ServiceNow/CIS-DF-mondaishu.html> (**20530%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 62

変更マネージャーは、構成アイテム (CI)が選択された際に変更フォームのフィールドを自動的に入力することで、ITSMプロセスを効率化することを目的としています。構成管理チームは、管理対象のすべてのCIに対して変更グループフィールドが入力されていることを確認します。

その結果、CIを選択した後、変更フォームのどの基本システムフィールドに自動的に入力されますか？

- A. チェンジグループ
- B. 割り当てグループ
- C. グループが管理
- D. 承認グループ

Answer: A (メッセージを残す)

ServiceNowにおける成熟した構成管理の実装では、CIの運用属性を活用して変更管理ワークフローを自動化し、手作業を削減します。

変更レコードで構成アイテム (CI)が選択されると、ServiceNowはCIの 変更グループ」属性を評価します。CIにこのフィールドが入力されている場合、プラットフォームは自動的にその値を 変更」フォームの 変更グループ」フィールドにコピーします。これにより、変更の所有権とガバナンスが担当技術チームと即座に整合することが保証されます。

変更グループは、主にインシデントやタスクのルーティングで使用される割り当てグループとは異なります。管理グループはライフサイクルの所有権を表し、CMDBガバナンスツールで使用されます。一方、承認グループは承認ワークフローを制御しますが、CIの選択から自動的に入力されるわけではありません。

この動作は、正確なCI属性の価値を示しています。これらの属性が一貫して入力されると、フィールドの自動入力、手動エラーの削減、ITSMワークフロー全体での処理速度の向上が可能になります。

最新問題: 63

アプリケーションとサーバーの関係は何ですか？

- A. アプリケーション > 使用元::使用先 > サーバー
- B. アプリケーション > 用途::使用元 > サーバー
- C. アプリケーション > 実行::実行環境 > サーバー
- D. アプリケーション > 実行環境::実行環境 > サーバー

Answer: D (メッセージを残す)

データ基盤 (CMDBおよびCSDM)では、インシデントのトリアージ、変更影響分析、およびサービスの可視性が正確であるように、関係モデリングは実際の運用上の依存関係を反映する必要があります。アプリケーションがサーバー上でホストされている場合、CMDB関係ガバナンスで使用する標準的なホスティングスタイルの関係は Runs on::Runs」として表現されます。このペアリングは、同じ関係タイプの2つの方向性記述子を表します。アプリケーションの観点からは、アプリケーションはサーバー上で実行され、サーバーの観点からは、サーバーがアプリケーションを実行します。

これは、CMDB のリレーションシップが下流の機能 (依存関係ビュー、影響度計算、ガバナンス ルールなど) で使用されるため重要です。適切な既製のリレーションシップ記述子ペアを使用することで、一貫性のあるレポートが保証され、チームが 上流」と 下流」のリレーションシップをたどる際の混乱を防ぐことができます。さらに、リレーションシップのガバナンス ルールと継承は、一般的に標準的なリレーションシップ タイプに基づいて構築されます。適切な Runs on::Runs」セマンティクスを使用することで、カスタムのリレーションシップ定義を必要とせずに、サブクラス (特定のアプリケーションおよびサーバーのサブクラスなど) 全体にわたる検証をサポートできます。

最新問題: 64

プラットフォームデータオーナーは、5つの検出ソースにわたる調整ルールを使用してデータ品質を向上させたいと考えています。データオーナーは、検出ソースの管理と監視にはCMDB 360 / Multisource CMDBを導入するのが最善策であることを認識しています。しかし、同社は現在、CMDB 360 / Multisource CMDBに必要なITOM Discoveryライセンスを保有していません。

この場合、データ所有者は何ができるでしょうか？

- A. マルチソースIREルールを活用するには、ITOM Discoveryを購入する必要があります。
- B. IRE調整ルールは、CMDB 360が有効になっているかどうかに関わらず、検出ソースを使用できます。
- C. CMDB 360 / Multisourceはすぐに使用できるプラットフォーム製品です

Answer: B (メッセージを残す)

識別 照合エンジン (IRE)はServiceNowの中核となるプラットフォーム機能であり、CMDB 360やマルチソースCMDBは必須ではありません。ITOM Discoveryライセンスがなくても、組織は複数のデータソースにわたってIRE照合ルールを定義し、使用することができます。

IREルールはソースを認識し、CMDB 360が有効になっているかどうかに関わらず、ソースの優先順位に基づいて属性を評価できます。CMDB 360は複数のソースの可視性、ガバナンス、および監視を強化しますが、調整ロジック自体の前提条件ではありません。

最新問題: 65

変更マネージャーは、構成アイテム (CI) が選択された際に変更フォームのフィールドを自動的に入力することで、ITSMプロセスを効率化することを目的としています。構成管理チームは、管理対象のすべてのCIに対して変更グループフィールドが入力されていることを確認します。

その結果、CIを選択した後、変更フォームのどの基本システムフィールドが自動的に入力されますか？

- A. チェンジグループ
- B. 割り当てグループ
- C. グループが管理
- D. 承認グループ

Answer: A ([メッセージを残す](#))

ServiceNowにおける成熟した構成管理の実装では、CIの運用属性を活用して変更管理ワークフローを自動化し、手作業を削減します。

変更レコードで構成アイテム (CI) が選択されると、ServiceNow はその CI の [変更グループ] 属性を評価します。CI にこのフィールドが入力されている場合、プラットフォームは自動的にその値を [変更] フォームの [変更グループ] フィールドにコピーします。これにより、変更の所有権とガバナンスが担当技術チームと即座に整合することが保証されます。

変更グループは、主にインシデントおよびタスクのルーティングで使用される割り当てグループとは異なります。

グループ管理はライフサイクル所有権を表し、CMDBガバナンスツールで使用されます。一方、承認グループは承認ワークフローを制御しますが、CI選択から自動的に入力されるわけではありません。

この動作は、正確なCI属性の価値を示しています。これらの属性が一貫して入力されると、フィールドの自動入力、手動エラーの削減、ITSMワークフロー全体での処理速度の向上が可能になります。

したがって、正解はA - Change Groupです。

最新問題: 66

インポートセットと変換マップを使用してCMDBにデータを統合する場合、データが識別および調整エンジン (IRE) を通じて処理されるようにするために、どのタイプのスクリプトを追加しますか？

- A. onBefore
- B. 完了時
- C. onAfter
- D. onStart

Answer: ([解答を表示する](#))

インポートセットと変換マップを使用してCMDBにデータを取り込む場合、重複を防ぎ、ソースの優先順位を強制するために、レコードが識別および調整エンジン (IRE) を通して処理されることが非常に重要です。ServiceNowでは、変換ロジックが完了した後にIREを呼び出すことでこれを実現します。

onAftertransformスクリプトは、IRE APIを呼び出すのに最適な場所です。この段階では、変換されたデータは既にマッピングされ、準備されているため、IREはCIが既に存在するかどうかを正しく識別し、定義されたルールに従って更新を調整できます。

onBeforeスクリプトとonStartスクリプトは、データマッピングが完了する前に実行されるため、IRE処理には適していません。onCompleteスクリプトは、インポートジョブ全体が完了した後に実行され、レコードごとのCI識別や調整を目的としたものではありません。

インポートセットは正しく設定されていない場合、IREをバイパスする可能性があるため、この取り込み方法を選択する場合は、anonAfterスクリプトを使用することがデータ基盤における重要な安全対策となります。

したがって、正解はC - onAfterです。

最新問題: 67

どのタイプのCMDBデータマネージャーポリシーが、割り当てられた個人がCIレコードのフィールドを更新できるようにするタスクを作成しますか？

- A. 監査

- B. 認証
- C. 証明書
- D. コンプライアンス

Answer: B ([メッセージを残す](#))

CMDBガバナンスにおいて、CMDBデータマネージャーのポリシータイプは、それぞれ異なる検証および適用目的を果たします。特定の担当者がCIレコードの特定のフィールドを確認および更新できるようにすることが目的の場合、適切なポリシータイプは認証です。

認証ポリシーは、担当者がライフサイクルステータス、サポートグループ、環境、所有権などの特定の構成アイテム属性を検証し、必要に応じて修正することを要求する実行可能なタスクを作成します。認証中、ユーザーは構成アイテムのフィールドを直接更新して、レコードを定義された標準に準拠させることができます。

認証 オプションC)は、CIがまだ存在するか、またはまだ有効であることをユーザーに確認させるだけであり、属性レベルの更新を要求したり、有効にしたりすることはありません。監査 オプションA)は、レポート作成と証拠収集に使用され、修復には使用されません。コンプライアンス オプションD)は、ルールへの準拠状況を測定しますが、編集可能な修復タスクを生成することはありません。

したがって、認証は、CIデータの人的検証と修正が必要な場合に使用される主要なメカニズムであり、CMDBデータ品質管理の礎石となっている。

したがって、正解はBの「認証」です。

最新問題: 68

Windows Server (cmdb_ci_win_server) クラスに対して、ServiceNow、Altiris、および SCCM 用に以下の調整ルールが設定されました。

Discovery Source	Class	Priority
ServiceNow	Windows Server [cmdb_ci_win_server]	100
Altiris	Windows Server [cmdb_ci_win_server]	200
SCCM	Windows Server [cmdb_ci_win_server]	300

正しい記述はどれですか？ 2つ選択してください

- A. Altirisの検出ソースで収集されたデータは、SCCMによってWindows Serverテーブルに挿入されたレコードを更新できます。
- B. ServiceNowの検出ソースで収集されたデータは、Windows Serverテーブルに新しいレコードを挿入できますが、AltirisまたはSCCMによって作成されたレコードを更新することはできません。
- C. SCCM の検出ソースで収集されたデータは、Windows Server テーブルに新しいレコードとして挿入できます。
- D. SCCM の検出ソースで収集されたデータは、最も高い優先順位番号を持つため、Windows Server テーブル内の任意のレコードを更新できます。

Answer: ([解答を表示する](#))

この問題は、ServiceNow の識別および調整エンジン (IRE) における調整ソースの優先順位に関する理解度を測るものです。

調整ルールでは、数値が小さいほど優先順位が高くなります。したがって、優先順位は次のようになります。

- * ServiceNow (100) - 最高権威
- * 集客数 200)
- * SCCM (300) - 最低権限

Altiris 200)はSCCM 300)よりも優先順位が高いため、AltirisからのデータはSCCMによって最初に挿入されたレコードを更新できます。これはまさにデータ調整の優先順位の仕組みであり、優先順位の高いソースが優先順位の低いソースを上書きできることを意味します。

SCCMは、優先度が最も低いものの、承認された検出ソースです。既存の構成アイテム (CI)が特定されない場合、Windows Serverテーブルに新しいレコードを挿入できます。優先度は更新にのみ影響し、レコードの作成機能には影響しません。

最新問題: 69

ドラッグアンドドロップ問題

CMDB 管理者は、CMDB 360/マルチソース CMDB を設定する必要があります。システム プロパティを機能にドラッグ アンド ドロップします。一部のオプションは適用されない場合があります。

Enables logging for CMDB 360

Enables capturing CMDB 360 data for CIs from non-CMDB classes

Enables CMDB 360

Enables capturing CMDB 360 data for CIs from CMDB classes

Maximum number of CIs that can be included in a CMDB 360 recompute operation

Answer Area

glide.identification_engine.multisource_enabled

glide.identification_engine.multisource_cmdb_ci_enabled

glide.cmdb.logger.source.cmdb_multisource

glide.identification_engine.multisource_recompute_max_ci_limit

Answer:

Enables capturing CMDB 360 data for CIs from CMDB classes

Enables logging for CMDB 360

Maximum number of CIs that can be included in a CMDB 360 recompute operation

Answer Area

Enables CMDB 360

Enables capturing CMDB 360 data for CIs from non-CMDB classes

glide.identification_engine.multisource_enabled

glide.identification_engine.multisource_cmdb_ci_enabled

glide.cmdb.logger.source.cmdb_multisource

glide.identification_engine.multisource_recompute_max_ci_limit

Explanation:

ServiceNowでは、CMDB 360 / Multisource CMDBは、識別および調整エンジン (IRE)を拡張し、マルチソースの可視性、調整、および信頼性スコアリングをサポートします。設定はシステムプロパティによって制御され、それぞれのプロパティが特定の機能を有効にします。

glide.identification_engine.multisource_enabled は、CMDB 360 の機能を有効にするマスター スイッチです。

glide.identification_engine.multisource_cmdb_ci_enabled を使用すると、CMDB 360 は CMDB CI クラスからデータを収集および評価できます。

glide.cmdb.logger.source.cmdb_multisource は、マルチソースの取り込みと調整のトラブルシューティングのための詳細なログ記録を可能にします。

glide.identification_engine.multisource_recompute.max_ci_limit は、再計算操作中に処理できる CI の数を制限することでパフォーマンスを保護します。

CMDB 360以外のクラスからCMDBデータを取得することはサポートされていないため、そのオプションには該当するプロパティがありません。
このマッピングは、データ基盤とCMDBガバナンスのベストプラクティスに準拠しており、CMDB 360が安全かつ透過的に、そして大規模に導入されることを保証します。

最新問題: 70

プラットフォームオーナーは、製造業界のステークホルダーと協力して、各社の構成アイテム (CI) をCSDM 5フレームワークに適合させようとしています。彼らは、生産ライン監視システムを適切なCSDMドメインにマッピングする必要があります。
プラットフォームオーナーはどのCSDM 5ドメインを使用していますか？

- A. 構築と統合（構築）
- B. 基礎
- C. サービス消費（販売／消費）
- D. 設計・企画（デザイン）
- E. サービス提供（技術管理）

Answer: E ([メッセージを残す](#))

CSDM 5では、生産ライン監視システム（SCADA、MES、IoTテレメトリプラットフォーム、運用監視ツールなど）は、サービスの運用、監視、サポートを担当する技術システムであり、サービスの設計や利用を担当するシステムではありません。これらのシステムは、サービス提供（技術管理）ドメインに直接対応します。
サービス提供ドメインは、インフラストラクチャ、プラットフォーム、および可用性、パフォーマンス、信頼性を確保する運用技術を含め、サービスが技術的にどのように提供され、運用されるかをモデル化するために使用されます。製造業の文脈では、生産ライン監視システムは、機器の状態、スループット、アラート、および運用指標を継続的に監視するため、技術的なサービス提供レイヤーの一部となります。

最新問題: 71

CMDBの値は何ですか？ 2つ選択してください

- A. 運用上の回復力の強化
- B. インシデントおよび変更管理の効率化
- C. CI関係のメンテナンスの自動化
- D. 財務データの収集と管理

Answer: ([解答を表示する](#))

CMDBは、組織がITサービスを自信、回復力、効率性をもって運用できるようにする基盤となる機能です。その価値は、自動化そのものや財務データ管理にあるのではなく、サービスを意識した運用と意思決定をどのように支援するかという点にあります。
運用上の回復力強化（オプションA）は、CMDBの中核的価値です。正確な構成データと関係性を維持することで、組織は依存関係をより深く理解し、リスクを評価し、インシデントや障害からの復旧を迅速化できます。信頼できるCMDBは、プロアクティブな問題管理と情報に基づいた変更計画を可能にし、回復力に直接貢献します。
インシデントおよび変更管理の効率化（オプションB）も、重要なメリットの一つです。正確なCIデータにより、インシデントを適切なサポートグループに自動的にルーティングし、根本原因分析を迅速化し、リスクベースの変更評価を支援します。これにより、手作業が削減され、対応時間が短縮され、運用リスクが低減されます。

最新問題: 72

CMDB管理者がサービスグラフコネクタをインストールし、スクリプト変換をカスタマイズしました。
スクリプト変換のデフォルト定義が更新された場合、その後のアップグレードではどうなりますか？

- A. アップグレードが停止し、エラーが報告されます
- B. スキップされた変更が作成され、スクリプト変換定義に変更は加えられません。
- C. サービスグラフコネクタのアップグレードが開始されません

Answer: ([解答を表示する](#))

ServiceNowでは、サービスグラフコネクタが、スクリプト変換などの保護されたアップグレード対応のアーティファクトを使用してデータ取り込みパターンを提供します。顧客がサービスグラフコネクタによって提供されるスクリプト変換をカスタマイズする場合、ServiceNowは標準の更新セットおよびアップグレード動作に従って、顧客のカスタマイズを保護します。その後のアップグレード時に、標準 (デフォルト) のスクリプト変換定義が変更された場合、ServiceNow はカスタマイズされたバージョンを上書きしません。代わりに、プラットフォームは変更がスキップされたことを記録します。これは、アップデートが利用可能であったものの、ローカルなカスタマイズのために意図的に適用されなかったことを示します。これにより、新しいリリースで何が変更されたかについての透明性を維持しながら、顧客固有のロジックが確実に保持されます。

最新問題: 73

サービスオーナーは、Unified Mapを使用してサービスの構成を理解しようとしていますが、無関係な情報をフィルタリングしたいと考えています。サービスオーナーはフィルターパネルからどのようなオプションを選択できますか？ 2つ選択してください)

- A. CIタイプ
- B. 発見元
- C. グループ管理
- D. ビジネス上の重要度

Answer: A,D (メッセージを残す)

ServiceNowの統合マップは、サービスとその基盤となるコンポーネントを統合的に表示し、サービスディスカバリとサービスマッピングのデータを統合します。この表示をより実用的にするために、サービスオーナーはフィルタを適用して関連要素に焦点を絞り、視覚的なノイズを低減できます。CIタイプによるフィルタリング (オプションA) は、コア機能の一つです。これにより、サービスオーナーはサーバー、データベース、ロードバランサー、アプリケーションなどのカテゴリを表示または非表示にすることができ、サービスの特定のレイヤーをより簡単に分析できます。ビジネス重要度によるフィルタリング (オプションD) も利用可能で、非常に有用です。これにより、サービスオーナーは影響度の高いコンポーネントに関するビューの優先順位付けを行うことができ、サービス提供に最も大きなリスクをもたらす構成アイテム (CI) に確実に注意を集中させることができます。オプションB (検出元は、統合マップが取り込み元ではなく運用およびサービスコンテキストに焦点を当てているため、通常は統合マップのフィルタとして表示されません。オプションC (グループによる管理) はガバナンス属性であり、統合マップ内の標準的なビジュアルフィルタではありません。したがって、適切なフィルタオプションは、A - CIタイプとD - ビジネス上の重要度です。

最新問題: 74

医療機関が、患者管理システムに影響を与える重大なインシデントに直面した。医療機関は、混乱を効果的に軽減するために、影響を受けるユーザーを特定する必要がある。彼らはどのCSDM関連データを活用すべきでしょうか？

- A. 類似のCIのインシデント履歴
- B. 部門別または地域別のサービス内容
- C. サービス環境属性
- D. 影響を受けるCI [task_ci]関連リスト

Answer: B (メッセージを残す)

医療現場において、重大なインシデント発生時に影響を受けるユーザーを特定することは、患者の安全と継続的なケアにとって不可欠です。共通サービスデータモデル (CSDM) では、影響を受けるユーザーを特定する最も効果的な方法は、サービス提供情報、特に部門や場所ごとに定義されているサービス提供情報を用いることです。サービス提供内容は、特定のユーザーグループがサービスをどのように利用するかを表します。この場合、患者管理システムは、救急、入院治療、外来サービスなどの部門ごとに異なるサービスを提供したり、病院の所在地ごとに範囲を限定したりすることができます。これらのサービス提供内容は、利用者の状況を明確に定義するため、インシデント対応者は、どの臨床医、スタッフ、または施設が影響を受けているかを即座に特定できます。オプションD (影響を受ける構成アイテム関連リスト) は技術的な影響を特定しますが、その影響をユーザーや消費者の状況に当てはめることはできません。オプションAは過去の状況を把握できますが、現在影響を受けているユーザーを特定することはできません。オプションC (サービス環境) は本番環境と非本番環境を区別するのに役立ちますが、誰が影響を受けているかを特定することはできません。

部門別または場所別のサービス提供を活用することで、プロバイダーは適切なユーザーに迅速に通知し、臨床的影響に基づいて対応の優先順位を付け、効果的に緩和策を調整することができ、CSDMおよびITILのベストプラクティスに準拠することができます。

したがって、正解はB - 部門別または地域別のサービス提供内容です。

最新問題: 75

CMDB管理者は、組織内で過去6か月間更新されていないすべてのLinuxサーバーを削除したいと考えています。

データ基盤において、管理者はどの推奨アクションを実行すべきでしょうか？

- A. ビジネスルールを作成する
- B. アーカイブポリシーを作成する
- C. スケジュールされたジョブを作成する

Answer: B ([メッセージを残す](#))

CMDBから不要または非アクティブな構成アイテムを削除する際は、データ損失、監査上の問題、および意図しない運用上の影響を避けるため、慎重に行う必要があります。ServiceNowでは、アーカイブポリシーを使用することが推奨され、管理されています。

アーカイブポリシーは、クラス、最終更新日、ライフサイクルステータス、運用状態などの定義済み条件に基づいて、CIライフサイクルのクリーンアップを管理するように設計されています。このシナリオでは、条件は6か月間更新されていないLinux Server CIを対象とします。アーカイブポリシーは、データ保持およびガバナンス基準への準拠を確保するために、レコードを制御された監査可能な方法でアーカイブまたは完全に削除できます。

最新問題: 76

ドラッグアンドドロップ問題

ACMDB 管理者は、重複する CI の対処と修復を防止するために使用できるツールを理解しようとしています。各機能に対応する結果とドラッグ アンド ドロップします。一部のオプションは適用されない場合があります。



Answer:



Explanation:

ServiceNowでは、重複CIの管理は、検出、分析、および修復に及びます。

CMDBヘルスダッシュボードの正確性機能は、重複が存在する箇所とその影響を明らかにし、可視性と優先順位付けを提供します。

認証タスクは、統制された解決をサポートし、個人またはグループにデータの検証と修正を割り当てることを可能にします。
重複排除テンプレートを使用すると、一括修正が可能になります。これは、標準化されたマージルールを多数の重複データに適用できる場合に最適です。
重複CI修復ツールは、レコードごとにガイド付きのウィザードを提供し、関係性と履歴を保持することで、より安全な個別解決を実現します。
重複排除タスクは、これらのプロセスによって生成される作業項目ですが、それ自体は成果を表すものではないため、適用されません。
このマッピングはCMDBデータ基盤のベストプラクティスに準拠しており、重複データが効率的かつ安全に特定、優先順位付け、および修正されることを保証します。

有効な **CIS-DF** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CIS-DF 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CIS-DF** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CIS-DF 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CIS-DF 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/ServiceNow/CIS-DF-mondaishu.html> (**20530%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 77
ある組織が、IoTデバイスなどの新しい資産タイプを含めるためにCMDBを更新しています。ITSMプロセスで正確に表示されるように、関連するCIクラスを追加し、古いクラスをプリンシパルクラスフィルターから削除する必要があります。
クラスを追加または削除するには、どのロールが必要ですか？
A. personalize.dictionary
B. sn_cmdb_admin
C. sn_csdm_admin
D. cmdb_query_builder

Answer: A,B (メッセージを残す)
CIクラスとプリンシパルクラスの指定を管理することは、スキーマレベルのCMDBアクティビティであり、インシデント、変更、問題などのITSMプロセスにおけるCIの表示方法に直接影響します。ServiceNowでは、これらのアクティビティには、ガバナンス、セキュリティ、およびアップグレードの安全性を確保するために、特定の管理者権限が必要です。
sn_cmdb_adminロールは、CIクラス階層管理、プリンシパルクラス構成、およびCMDB全体のガバナンスを含むCMDB構造への管理アクセスを提供するため、必須です。このロールがないと、ユーザーはCIクラスを効果的に追加、削除、または管理することができません。
personalize_dictionary ロールも必要です。これは、CI クラスの追加または削除には辞書レベルの変更が伴うためです。CI クラスは CMDB スキーマを拡張するテーブルとして実装されており、プリンシパル クラス フィルタの変更は辞書メタデータに依存します。このロールは、クラス定義を安全に作成、変更、または削除する権限を付与します。
sn_csdm_admin ロールは、CSDM の構成要素 (ドメイン、サービス、ライフサイクルアライメント) の管理に特化しており、辞書やスキーマの変更権限は付与していません。cmdb_query_builder ロールは、クエリとレポート作成のみに使用され、構造的な変更は許可していません。

最新問題: 78
ドラッグアンドドロップ問題
CMDBオーナーはCSDMの取り組みを開始するにあたり、CSDMの各ドメインについて理解を深める必要があります。
CMDBオブジェクトを適切なCSDMドメインにドラッグしてください。
Answer:



Explanation:

共通サービスデータモデル（CSDM）は、CMDBデータを、サービスの計画、提供、および利用方法を反映したドメインに整理します。オブジェクトの適切な配置は、レポート作成、所有権の明確化、および下流のITSM、ITOM、IRMのユースケースにとって不可欠です。

設計および計画領域のビジネスプロセス

ビジネスプロセスとは、事業がどのように運営されるか、そしてどのような能力が必要とされるかを説明するものです。

これらは、サービスやアプリケーションを構築または提供する前に設計するために使用される計画構成要素です。

基盤ドメイン ビジネスアプリケーション

ビジネスアプリケーションは、どのようなアプリケーションが存在し、誰が所有しているかを示す、基盤となる参照オブジェクトです。これらは所有権、ライフサイクル、ガバナンスの基盤となりますが、直接的な運用には関与しません。

サービス提供ドメイン アプリケーションサービス

アプリケーションサービスは、稼働中の運用技術サービス（多くの場合、サービスマッピングによって作成される）を表します。これらはインシデント管理、変更管理、イベント管理の中核を成すものであり、サービス提供の一部となります。

販売/消費ドメイン ビジネスサービス

ビジネスサービスとは、顧客や消費者に提供されるものを指します。これらは価値の提供、サービスレベル契約（SLA）、および消費状況を定義するため、販売／消費領域に属します。

このマッピングはCSDM v5のガイダンスに準拠しており、計画構成要素、基本記録、運用サービス、および顧客向けサービス間の明確な分離を保証します。これは、拡張性と統制性を備えたCMDBの重要な原則です。

最新問題: 79

CMDBデータマネージャーは、ServiceNowプラットフォームにアクセスして、CIライフサイクル操作を自動化および統制するポリシーを作成、公開、管理し、CMDBが健全かつ効率的に維持されるようにする必要があります。

データマネージャーはどこでこれを実行できますか？

A. CMDBワークスペース?CMDB 360タブ

B. サービス運用ワークスペース

C. CIクラスマネージャー

D. CMDBワークスペース ?管理タブ

Answer: D (メッセージを残す)

CMDBデータマネージャーは、CMDBの長期的な健全性を確保するために、ライフサイクルポリシー（アーカイブ、認証、証明、クリーンアップ）の作成、公開、管理などのガバナンス活動を実行します。これらの活動は、CMDBワークスペース内の「管理」タブで実行されます。

ServiceNowでは、CMDBワークスペースの「管理」タブが、CMDBガバナンス操作を一元管理する場所です。ここから、データマネージャーはポリシーロジックの定義、所有権の割り当て、実行スケジュールの設定、結果の監視、およびそれらのポリシーによって生成された修復タスクの管理を行うことができます。

最新問題: 80

2つ選択してください

チェンジマネージャーはCSDMから価値を得たいと考えている。

変更管理プロセスはCSDMからどのような恩恵を受けるのでしょうか？

- A. 遮光窓を特定する
- B. 変更問題の根本原因を特定する
- C. 変更を動的にルーティングする
- D. 変更がサービスに与える影響を理解する

Answer: A,D (メッセージを残す)

CSDMは、サービスを考慮したコンテキストを提供することで、変更管理を大幅に強化し、より良い計画策定、リスク評価、および利害関係者とのコミュニケーションを可能にします。

重要な利点の1つは、サービス停止期間（オプションA）を特定できることです。CSDMに準拠したビジネスサービス、サービス提供内容、およびサービスカレンダーを通じて、変更管理者は、業務上の制約、規制要件、またはピーク使用期間のためにサービスが変更できない時期を明確に把握できます。これにより、リスクの高い期間に変更がスケジュールされるのを防ぐことができます。

もう一つの重要な利点は、変更がサービスに与える影響を把握できることです（オプションD）。CSDMは、インフラストラクチャ構成アイテム、アプリケーションサービス、およびビジネスサービス間の明確な関係を確立します。変更が提案されると、これらの関係によって正確な影響分析が可能になり、変更管理者は技術的な範囲だけでなく、ビジネス上の重要度に基づいてリスクを評価できます。

オプションB（根本原因の特定）は、主に問題管理機能です。オプションC（変更の動的ルーティング）は、CSDMによって直接制御されるのではなく、ワークフローと承認ロジックによって制御されます。

したがって、正解はA - 停電期間を特定する、およびD - 変更がサービスに与える影響を理解する、です。

最新問題: 81

データセンターマネージャーは、CMDB CIクラスマネージャーと協力して、アプリケーションサーバーとそれらがホストするアプリケーションとの関係を定義しています。この会社には、1つ以上のアプリケーションをホストする複数のアプリケーションサーバーがあります。

アプリケーションサーバーテーブル[cmdb_ci_app_server]とアプリケーションテーブル[cmdb_ci_app]の関係を説明しているのはどれですか？

- A. 多対多
- B. 一対多
- C. 多対一
- D. 1対1

Answer: A (メッセージを残す)

データ基盤の「構成」には、実際のテクノロジーの依存関係を反映し、影響分析、トラブルシューティング、サービス マッピングなどの運用上のユース ケースをサポートする方法で CI 関係をモデル化することが含まれます。「アプリケーション サーバーがアプリケーションをホストする」シナリオでは、複数のアプリケーション サーバーが 1 つ以上のアプリケーションをホストできることが説明されています。ほとんどのエンタープライズ 環境では、その逆も真です。アプリケーションは、複数のアプリケーション サーバーにまたがってホストできます（たとえば、水平スケーリング、クラスタ デプロイメント、アクティブ / アクティブ アーキテクチャ、同じアプリケーションの異なる階層またはコンポーネント用の別々のサーバーなど）。

両方の側が複数の関連レコードを持つことができるため、正しい論理関係は多対多です。

* 1台のアプリケーションサーバーで複数のアプリケーションをホストする

* 1つのアプリケーションを複数のアプリケーションサーバーでホストできます。

ServiceNow CMDBでは、多対多の関係はCMDBリレーションシップモデル（親子関係によって表現され、プラットフォームはサーバーとアプリケーションをリンクする複数のリレーションシップレコードを、不自然な単一参照制約を課することなく保存できます。これにより、CMDBの品質が向上し、特にインシデントトリアージ（このサーバーがダウンした場合、どのアプリケーションが影響を受けるか？）や変更影響分析（このアプリケーションコンポーネントを変更した場合、どのサーバーが影響を受ける可能性があるか？）において、より強力な成果が得られます。一対多または多対一のモデルでは、サーバーを一つのアプリケーションに限定したり、アプリケーションを一つのサーバーに限定したりすることになり、一般的なホスティングパターンと合致しないため、CMDBの有用性と精度が低下します。

最新問題: 82

複数のビジネスサービスをサポートする共有ミドルウェアをモデル化する際の推奨される方法は？

- A. CIとビジネスサービスとの直接的な関係
- B. ミドルウェアを表すアプリケーションサービスを作成する
- C. 関係性を持たないカスタムCIを作成する
- D. 資産としてのみ保管する

Answer: B ([メッセージを残す](#))

ミドルウェアは、適切なサービス抽象化と依存関係マッピングをサポートするために、アプリケーションサービスとしてモデル化されるべきである。

最新問題: 83

資産管理者は、資産記録と構成アイテム記録が自動的に同期されるようにしたいと考えている。

マネージャーはどのようにしてこれを実現するのでしょうか？ 2つ選択してください。）

- A. 資産テーブルの変更時にCIフィールドを更新するビジネスルールが有効になっていることを確認してください。
- B. CIテーブルの変更時に資産フィールドを更新するビジネスルールが有効になっていることを確認してください。
- C. 同期が確実に行われるよう、スケジュールされたジョブは営業時間外に実行されるようにしてください。
- D. アセットとCI間の1対1の物理的マッピングを確保する

Answer: A,B ([メッセージを残す](#))

データ基盤において、[円バナンス](#)」には、運用プロセスと資産ライフサイクルプロセスが信頼できる状態を維持できるよう、密接に関連するデータドメイン間の一貫性を維持することが含まれます。ハードウェアエンドポイント およびその他の資産担保アイテム)の場合、資産レコードとCIレコードは、多くの場合、財務的観点と、財務的観点という2つの観点から、同じ現実世界のアイテムを表します。

ライフサイクル管理（資産と運用／サービスコンテキスト（構成アイテム）を同期します。自動同期により、資産と構成アイテムで所有者、場所、ステータスが異なるといったずれが生じ、レポートエラー、不適切な履行決定、監査上の問題が発生するのを防ぎます。

このプラットフォームは、アセットが変更されたときにCIを更新し、CIが変更されたときにアセットを更新する、標準搭載の同期ロジック（一般的にはビジネスルールと関連設定として実装される）による同期をサポートしています。これにより、どのチームがどのレコードを更新しても、レコードの整合性が維持されます。したがって、アセットからCIへの更新ロジック A)とCIからアセットへの更新ロジック B)の両方をアクティブにすることが、データを自動的に同期させるための正しい方法です。

オプションCは同期に必須ではありません。意図は、後で実行されるバッチジョブではなく、レコードの変更によって駆動されるほぼリアルタイムの一貫性です。他の保守作業のためにスケジュールされたジョブが存在する可能性はありますが、それらは資産/構成アイテムの同期を維持するための主要なメカニズムではありません。オプションDはデータ品質の原則として重要です（理想的には、物理的なアイテムに対して1つの資産が1つの構成アイテムにマッピングされます）が、『対1のマッピングを保証する』こと自体は自動化メカニズムではありません。自動化はアクティブな同期ロジックによって実現されるため、AとBが正解となります。

最新問題: 84

複数の検出ソース（ServiceNow Discoveryとサードパーティツール）が重複したサーバー構成アイテムを作成しています。今後重複が発生しないようにするには、どのような設定を行うべきでしょうか？

- A. データ認証
- B. 識別ルール

C. ビジネスルール

D. 変換マップ合体

Answer: B (メッセージを残す)

識別ルールは、構成アイテム (CI) を一意に識別する方法を決定します。適切な識別基準 (例シリアル番号+ホスト名) により、IREを介して複数のソース間で重複したCIが作成されることを防ぎます。

最新問題: 85

ユーザーのエンドポイントデバイスはCMDBにインポートされ、コンピュータCI [cmdb_ci_computer] の[担当者]フィールドに入力されます。資産管理チームは、関連する資産の[担当者]フィールドに構成アナリストが入力するよう依頼します。

構成アナリストは、これを自動化された方法で実現するためにどのような行動をとるのでしょうか？

A. 資産レコードの 担当者」フィールドを非表示にし、関連する構成アイテムにドットウォークして 担当者」の値を取得する新しいフィールドを作成します。

B. コンピュータ テーブルにビジネス ルールを設定し、コンピュータ クラスの 割り当て先」フィールドへの挿入または更新に基づいて、スクリプトを使用して資産の 割り当て先」フィールドに値を入力します。

C. アセットCIフィールドマッピングモジュールを使用して、アセットと関連付けられたCIの間で 割り当て先」値を複製する新しいルールを作成します。

Answer: C (メッセージを残す)

データ基盤部門は、技術的負債を削減し、アップグレードの安全性を向上させるため、可能な限りカスタムスクリプトではなく、標準搭載の同期メカニズムを使用することを強く推奨しています。このシナリオでは、エンドポイントデータがCIレコードに取り込まれており、資産管理チームは、資産管理プロセスに対応する資産レコードを自動的に同期させる必要があります。

推奨される方法は、アセットとそれに関連する構成アイテム (CI) 間のフィールドをマッピングおよび同期するために特別に設計されたアセットCIフィールドマッピングを使用することです。担当者」のマッピングルールを作成または更新することで、スクリプトを作成することなく、プラットフォームが制御されたサポート可能な方法で値を複製できるようになります。この方法は、標準構成、明確なガバナンス、最小限のカスタムコードといったベストプラクティスに合致しています。

オプションB (スクリプトによるビジネスルール) は技術的には機能しますが、保守リスク、テストのオーバーヘッド、およびアップグレード時の脆弱性といった問題が生じます。これは、標準機能が存在する場合にData Foundationsが警告しているまさにその種類の技術的負債です。オプションA (ドットウォーキング) はユーザーエクスペリエンスを変更し、アセットフィールドに実際に値を入力するわけではありません。派生値を表示するだけであり、アセットフィールドが設定されていることを想定したレポート作成、エクスポート、統合、またはライフサイクルワークフローなど、アセットチームのニーズを満たせない可能性があります。したがって、最も優れた自動化されたベストプラクティスソリューションは、アセットCIフィールドマッピングです。

最新問題: 86

ある組織が、IoTデバイスなどの新しい資産タイプを含めるためにCMDBを更新しています。ITSMプロセスで正確に表示されるように、関連するCIクラスを追加し、古いクラスをプリンシパルクラスフィルターから削除する必要があります。

クラスを追加または削除するには、どのロールが必要ですか？

A. personalize.dictionary

B. sn_cmdb_admin

C. sn_csdm_admin

D. cmdb_query_builder

Answer: (解答を表示する)

CIクラスとプリンシパルクラスの指定を管理することは、スキーマレベルのCMDBアクティビティであり、インシデント、変更、問題などのITSMプロセスにおけるCIの表示方法に直接影響します。ServiceNowでは、これらのアクティビティには、ガバナンス、セキュリティ、およびアップグレードの安全性を確保するために、特定の管理者権限が必要です。

sn_cmdb_adminロールは、CIクラス階層管理、プリンシパルクラス構成、およびCMDB全体のガバナンスを含むCMDB構造への管理アクセスを提供するため、必須です。このロールがないと、ユーザーはCIクラスを効果的に追加、削除、または管理できません。

personalize_dictionaryロールも必要です。これは、CIクラスの追加または削除には辞書レベルの変更が伴うためです。CIクラスはCMDBスキーマを拡張するテーブルとして実装されており、プリンシパルクラスフィルタの変更は辞書メタデータに依存します。このロールは、クラス定義を安全に作成、変更、または削除する権限を付与します。

sn_csdm_adminロールは、CSDM構成要素（ドメイン、サービス、ライフサイクルアライメント）の管理に特化していますが、辞書やスキーマの変更権限は付与しません。cmdb_query_builderロールは、クエリとレポート作成のみに使用され、構造変更は許可しません。

したがって、必要なロールは personalize.dictionary と sn_cmdb_admin の 2 つであり、オプション A と B が正解となります。

最新問題: 87

開発チームは、多数のサーバーにアプリケーションをデプロイするプロジェクトに取り組んでいます。このアプリケーションは顧客の個人データ（PIIおよびPCI）を保持するため、法的規制を遵守するために、いくつかのセキュリティ要件を確認する必要があります。

開発チームは、監査に対応するために使用する情報をCSDMのどこに保存すべきでしょうか？

A. 技術管理サービス（技術サービス）およびグループ

B. ビジネスアプリケーションと情報オブジェクト

C. 顧客サービス内容とデータベース

Answer: B (メッセージを残す)

共通サービスデータモデル（CSDM）においては、規制、セキュリティ、コンプライアンス関連情報（特に個人情報 PII）およびPCI DSS関連情報は、インフラストラクチャレベルやサービス提供レベルではなく、ビジネスレベルおよび情報レベルでモデル化する必要があります。これらのデータの適切な保管場所は、ビジネスアプリケーションと情報オブジェクトを組み合わせたものです。

ビジネスアプリケーションとは、ビジネスの機能やプロセスを支える論理的なアプリケーションのことです。GDPR、PCI-DSS、HIPAAなどのコンプライアンス義務は、アプリケーションをホストするサーバーの数ではなく、ビジネスにおけるデータの利用方法に基づいて評価されるため、監査に関連するコンテキストの適切な基準点となります。

情報オブジェクトは、アプリケーションによって処理、保存、または送信されるデータ（個人情報 PCI、医療情報、機密性の高いビジネスデータなどのデータ分類を含む）をキャプチャするために明確に設計されています。これにより、組織はCIレコードに過負荷をかけたり、インフラストラクチャクラスを汚染したりすることなく、規制範囲、保持ルール、暗号化要件、および監査制御を文書化できます。

Valid CIS-DF Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing CIS-DF Exam! GoShiken.com now offer the **newest CIS-DF exam dumps**, the GoShiken.com CIS-DF exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com CIS-DF dumps with Test Engine here: <https://www.goshiken.com/ServiceNow/CIS-DF-mondaishu.html> (**205 Q&As Dumps, 30%OFF Special Discount: Freepdfdumps**)